

メールワイズ5 導入マニュアル

商標について

- 記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。また、当社製品には他社の著作物が含まれていることがあります。

個別の商標・著作物に関する注記については、弊社のWebサイトを参照してください。

<https://cybozu.co.jp/logotypes/other-trademark/>

なお、本文および図表中では、(TM)マーク、(R)マークは明記していません。

目次

1 章 運用前に	4
1.1. メールワイズ 5の試用方法.....	4
1.2. インストール直後にシステム管理者が行うこと	6
1.3. メール送受信の設定について	13
1.4. ほかのメールソフトの設定を流用する方法.....	20
1.5. 利用開始時にユーザーが行うこと	43
1.6. 製品バージョンの確認	45
1.7. ログイン画面をお気に入りに登録する方法.....	47
2 章 インストール	50
2.1. インストールで使う用語.....	50
2.2. Windows版のインストール	52
2.3. インストール時に困ったときは.....	64
2.4. サーバーやドライブの移行.....	66
3 章 バージョンアップ	80
3.1. Windows版のバージョンアップ	80
3.1.1. バージョンアップの前に確認すること	81
3.1.2. お使いのメールワイズ 5を最新版にする	85
3.1.3. メールワイズ 3やメールワイズ 4をメールワイズ 5にする	90
3.1.4. メールワイズ 2以前をメールワイズ 5にする	95
4 章 アンインストール	97
4.1. Windows版のアンインストール	97

1章 運用前に

メールワイズ 5の試用方法、および管理者が最初に行う設定などを紹介します。

i 関連ページ

- [メールワイズ 5の試用方法\(4ページ\)](#)
 - [ログイン画面をお気に入りに登録する方法\(47ページ\)](#)
 - [ログイン/ログアウト](#)
 - [管理画面へのアクセス](#)
 - [インストール直後にシステム管理者が行うこと\(6ページ\)](#)
 - [利用開始時にユーザーが行うこと\(43ページ\)](#)
-

1.1. メールワイズ 5の試用方法

お知らせ

- メールワイズ 5は、販売とサポートが終了します。
詳細は、製品サイトの[販売・サポート終了のお知らせ](#)を参照してください。

メールワイズ 5は60日間の試用が可能です。

操作手順：

1. 動作環境を確認します。

詳細は、製品サイトの[動作環境](#)を参照してください。

2. メールワイズ 5をインストールするサーバーを準備します。

3. 手順2のサーバーに、次のWebページから、メールワイズ 5のインストーラーをダウンロードします。

インストーラーは、製品サイトの[パッケージ版ダウンロード](#)のページから入手できます。

4. 手順2のサーバーで、メールワイズ 5をインストールします。

インストールする手順の詳細は、[Windows版のインストール\(52ページ\)](#)を参照してください。

インストールマニュアルにしたがって操作すると、ここではログイン画面が表示されます。

5. いつでも試用環境にアクセスできるように、製品画面のURLをWebブラウザのお気に入りに追加します。

ログイン用URLをお気に入りに追加する手順の詳細は、[ログイン画面をお気に入りに登録する方法\(47ページ\)](#)を参照してください。

6. ユーザーの登録やシステムの事前設定など、運用の前に必要な設定をします。

運用の前に必要な設定は、[インストール直後にシステム管理者が行うこと\(6ページ\)](#)を参照してください。

補足

- 試用期間中に購入手続きをされない場合、試用期間終了後は次の挙動になります。
 - 試用時に登録したデータを閲覧できなくなる。
 - メールを送受信や新たなデータの登録ができなくなる。
 - 購入手続きをされない場合は、不要になった試用環境をアンインストールします。
アンインストールする手順の詳細は、[Windows版のアンインストール\(97ページ\)](#)を参照してください。
-

1.2. インストール直後にシステム管理者が行うこと

メールワイズ 5をインストールした直後に行う、システム管理者による設定と作業の流れを説明します。

Steps:

- Step 1 [メールワイズ 5にサンプルユーザーでログインします。](#)
- Step 2 [メールサーバーとメールアカウントを設定します。](#)
- Step 3 [メールワイズ 5のシステム設定画面にアクセスします。](#)
- Step 4 [自分をメールワイズ 5のユーザーに登録します。](#)
- Step 5 [サンプルユーザーからログアウトし、Step4で追加した自分のユーザーでログインします。](#)
- Step 6 [メールワイズ 5のシステム設定画面にアクセスします。](#)
- Step 7 [組織を追加します。](#)
- Step 8 [ユーザーを追加します。](#)
- Step 9 [ユーザーの所属組織を変更します。](#)
- Step 10 [システム管理者を設定します。](#)
- Step 11 [メールワイズ 5へのログイン方法を設定します。](#)

Step 12 運用に応じて、使用するユーザーやアプリケーションを設定します。

Step 13 購入手続きが完了している場合は、メールワイズ 5のライセンスを登録します。

Step 14 ユーザーに利用開始を連絡します。

Step 1

メールワイズ 5にサンプルユーザーでログインします。

1. お使いの環境に合わせて、次のURLにアクセスします。

http://（サーバーのIPアドレスまたはホスト名）/scripts/cbmw/mw.exe

2. 名前のドロップダウンリストから「サンプルユーザー」を選択し、ログインをクリックします。

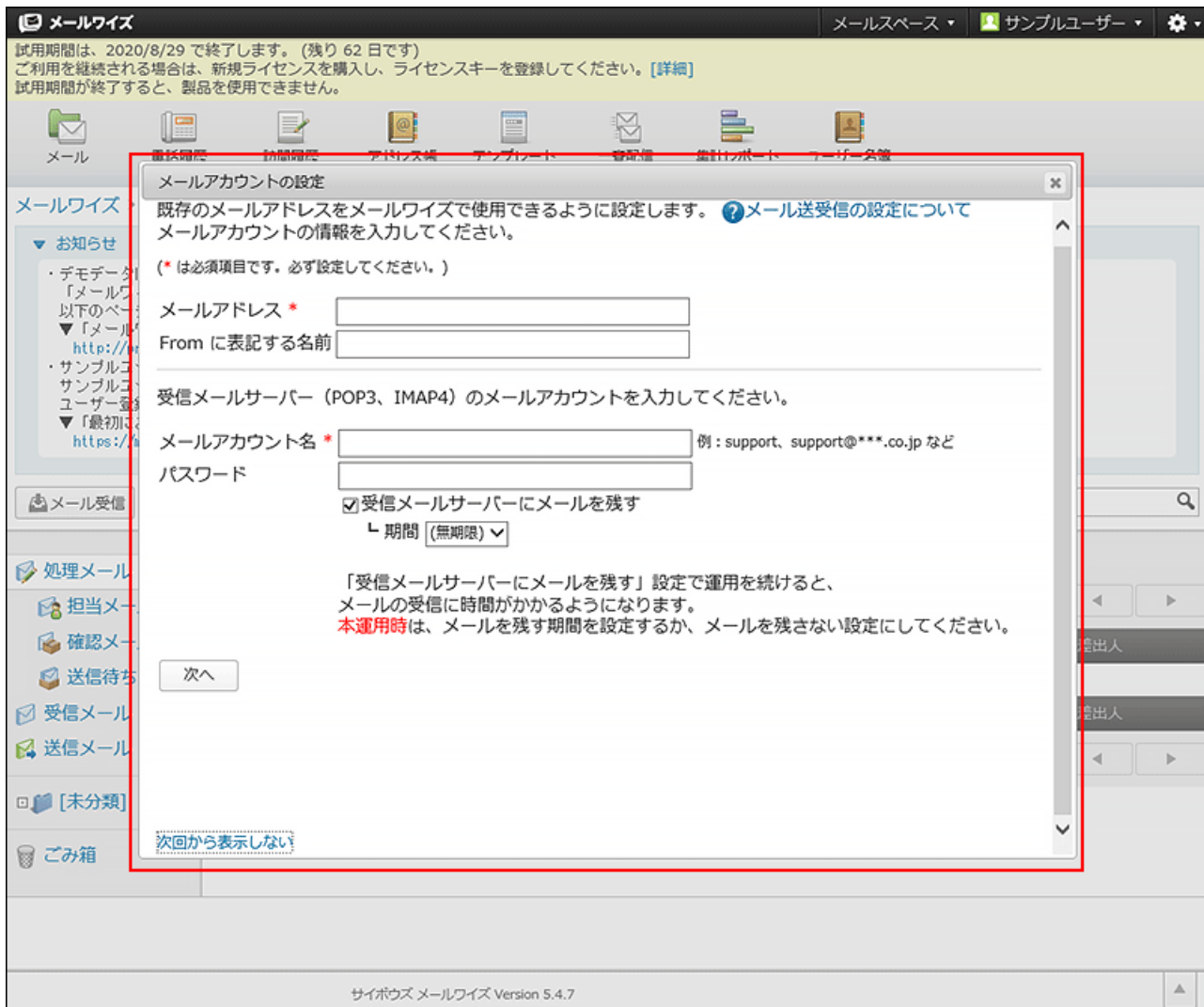


Step 2

メールサーバーとメールアカウントを設定します。

メールサーバーやメールアカウントの設定を促すポップアップウィンドウが表示されます。

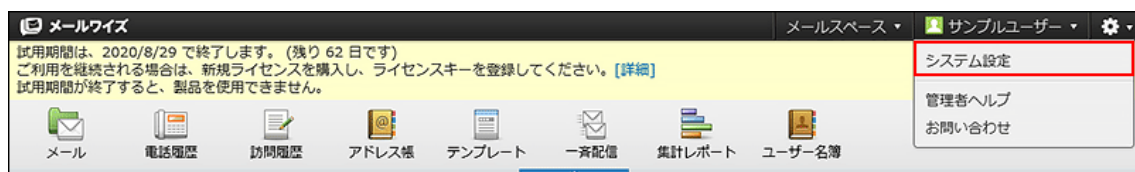
ポップアップウィンドウでの操作についての詳細は、[メール送受信の設定について\(13ページ\)](#)を参照してください。



Step 3

メールワイズ 5 のシステム設定画面にアクセスします。

1. ヘッダーの歯車アイコンをクリックします。
2. [システム設定] をクリックします。



Step
4

自分をメールワイズ 5 のユーザーに登録します。

詳細は、[ユーザーを追加する](#)方法を参照してください。

Step4は一時的な設定であるため、名前、ログイン名、およびパスワードの登録だけで構いません。

Step8で保留にした項目を設定します。

システム設定 > ユーザーの設定

現在のユーザー数：1人






  順番変更

名前	操作
 サンプルユーザー	 変更する  削除する  個人設定

- CSV
- CSV
- ユーザー
- パスワード
- サイ

システム設定 > ユーザーの設定 > ユーザーの追加

追加するユーザーの情報を設定してください。
(* は必須項目です。必ず設定してください。)

名前 *	加藤	大輔
	姓	名
ログイン名	daisuke-kato	
メールアドレス		
連絡先		
画像		
ファイル形式がgif、png、jpeg (CMYK形式を除く) のみ有効		
パスワード	●●●●●●●●	
パスワード	●●●●●●●●	(確認用)
最初に表示する組織	(未設定) ▼	
所属する組織	所属する組織	所属しない組織
		
		

**Step
5**

サンプルユーザーからログアウトし、Step4で追加した自分のユーザーでログインします。

ヘッダーの[ユーザー名]をクリックして、[ログアウト]をクリックすると、製品からログアウトできます。

**Step
6**

メールワイズ 5のシステム設定画面にアクセスします。

**Step
7**

組織を追加します。

お客様の所属する部署や会社構成を組織として登録します。
組織を登録しておくことで、組織ごとにアクセス権を設定できるため、情報の管理に便利です。
詳細は、[組織を追加する](#)方法を参照してください。

**Step
8**

ユーザーを追加します。

メールワイズ 5を利用するユーザーを追加します。
必要に応じて、各ユーザーのログイン名とパスワードを合わせて設定します。
詳細は、[ユーザーを追加する](#)方法を参照してください。
Step4で保留にしていた、自分のユーザー情報も正しく設定します。
詳細は、[ユーザー情報を変更する](#)方法を参照してください。

**Step
9**

ユーザーの所属組織を変更します。

Step8で登録したユーザーに、Step7で登録した組織を紐づけます。
詳細は、[所属組織を変更する方法](#)を参照してください。

Step 10 システム管理者を設定します。

メールワイズ 5のシステムを管理する組織やユーザーを指定します。
詳細は、[管理者の設定](#)を参照してください。

Step 11 メールワイズ 5へのログイン方法を設定します。

ログイン方法は2種類あります。
設定方法は、[ログイン方法の変更](#)を参照してください。
ログイン方法に「ログイン名を入力する」を選択する場合は、ユーザーのログインパスワードの最低文字数を設定します。
詳細は、[パスワードの制限の設定](#)を参照してください。

Step 12 運用に応じて、使用するユーザーやアプリケーションを設定します。

詳細は、次のページを参照してください。

[利用ユーザーの設定](#)

[メールアプリケーションを設定する](#)

[使用するアプリケーションを設定する](#)

システム設定



Step 13

購入手続きが完了している場合は、メールワイズ 5のライセンスを登録します。

詳細は、[ライセンスの登録](#)を参照してください。

試用中の場合、Step13は不要です。Step14に進みます。

試用期間はインストールから60日間です。

Step 14

ユーザーに利用開始を連絡します。

次の情報をユーザーに連絡します。

- アクセスURL

次回からのログインが簡単になるよう、アクセスURLはWebブラウザのブックマークやお気に入りに追加しておくことを、ユーザーに連絡してください。

お気に入りに追加する方法は、[ログイン画面をお気に入りに登録する方法\(47ページ\)](#)を参照してください。

- 必要に応じて、ログイン名

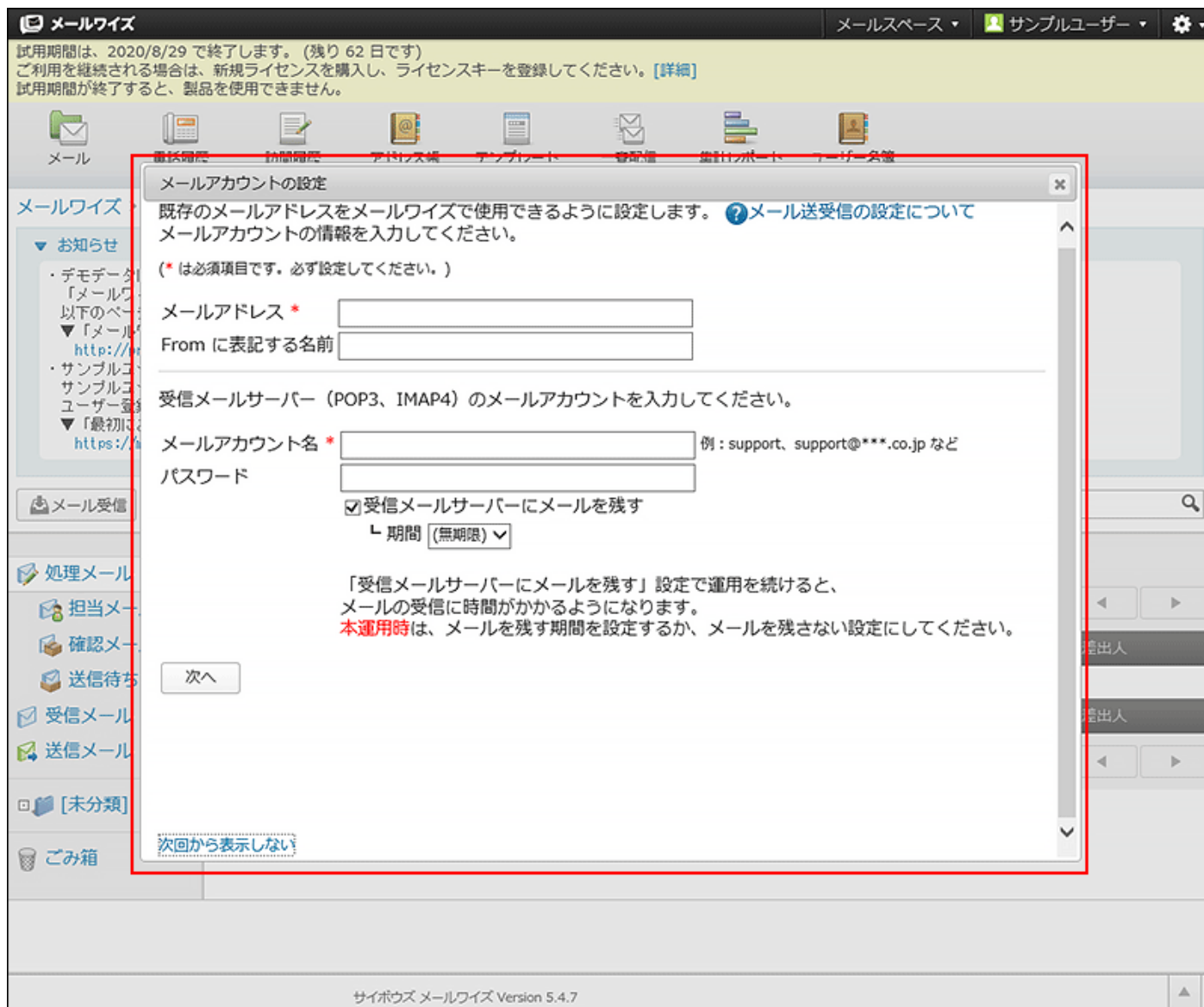
- パスワード

補足

- Step8とStep9は、CSVファイルを使って一括で登録することもできます。
詳細は、[CSVファイルから読み込む方法](#)を参照してください。

1.3. メール送受信の設定について

メールワイズ 5の導入時や、有効なメールアカウントが登録されていないメールアプリケーションにアクセスした時、システム管理者の画面にメールサーバーとメールアカウントの設定を促すポップアップウィンドウが表示されます。



設定が完了すると、ポップアップウィンドウが消え、メールを送受信できるようになります。ここでは、ポップアップウィンドウからメールサーバーとメールアカウントを設定する方法を説明します。

ほかのメールソフトで使用していたメールサーバーとメールアカウントの設定を流用して、メールの送受信の設定を完了することもできます。

詳細は、次のページを参照してください。

[Outlookの場合\(20ページ\)](#)

[Thunderbirdの場合\(26ページ\)](#)

[Becky! Internet Mailの場合\(32ページ\)](#)

補足

- ポップアップウィンドウは、メールの送受信ができるようになるまで、メールアプリケーションにアクセスするたびに表示されます。次回のアクセスからポップアップウィンドウを表示させたくない場合は、**次回から表示しない** をクリックします。
- 次の場合は、システム設定からメールの送受信の設定を行います。
 - 複数のメールアドレスを使用する場合
 - 設定が完了する前にポップアップウィンドウを閉じた場合
 - 楽天あんしんメルアドサービスを使用する場合：
サービスの詳細は、[楽天あんしんメルアドサービスとは？](#)を参照してください。

システム設定から設定する方法は、次のページを参照してください。

[メールサーバーの設定](#)

[メールアカウントの設定](#)

ポップアップウィンドウで、メールサーバーとメールアカウントを設定します。

操作手順：

1. メールアカウントの情報を入力します。

- メールアドレス：
メールワイズ 5で使用するメールアドレスを入力します。
- Fromに表記する名前：
送信するメールの差出人として表記する名前を入力します。あとから設定することもできます。
詳細は、[送信情報 \(From\) の設定](#)を参照してください。

メールアカウントの設定

既存のメールアドレスをメールワイズで使えるように設定します。 ? メール送受信の設定について
メールアカウントの情報を入力してください。

(* は必須項目です。必ず設定してください。)

メールアドレス *

From に表記する名前

2. 受信メールサーバー（POP3、IMAP4）のメールアドレスを入力し、次へ をクリックします。

- メールアカウント名：
メールの送受信に使用するアカウント名を入力します。
- パスワード：
メールの受信に使用するPOP3アカウントのパスワードを入力します。
- 受信メールサーバーにメールを残す：
受信メールをメールサーバーに残すかどうかを設定します。
メールを残す設定にする場合は、チェックボックスを選択し、メールを残す期間を設定します。
期間の初期値は「（無期限）」です。1日～14日までの期間を選択してください。
期間を過ぎたメールは、メールサーバーから削除されます。
メールを残す設定で運用を続けると、メールの受信に時間がかかる場合があります。

受信メールサーバー（POP3、IMAP4）のメールアドレスを入力してください。

メールアドレス名 * 例：support、support@***.co.jp など

パスワード

受信メールサーバーにメールを残す

 └ 期間 ▼

「受信メールサーバーにメールを残す」設定で運用を続けると、
メールの受信に時間がかかるようになります。
本運用時は、メールを残す期間を設定するか、メールを残さない設定にしてください。

3. 受信メールサーバーの情報を入力します。

入力したメールアドレスから、メールワイズ 5がメールサーバーの情報を判別し、項目に表示する場合があります。

情報が反映された場合、「入力されたメールアドレスをもとに、メールサーバーの情報を設定しました。」と表示されます。

メールアカウントの設定
✕

メールサーバーの情報を入力してください。 [?メール送受信の設定について](#)

(* は必須項目です。必ず設定してください。# は数値項目です。半角数値を設定してください。)

入力されたメールアドレスをもとに、メールサーバーの情報を設定しました。

情報が反映されなかった場合は、手動で入力します。

メールアカウントの設定
✕

メールサーバーの情報を入力してください。 [?メール送受信の設定について](#)

(* は必須項目です。必ず設定してください。# は数値項目です。半角数値を設定してください。)

受信メールサーバー POP3 IMAP4

サーバー名 * 例: pop.hokkyoku.com

ポート番号 * #

通信を暗号化する

APOP認証をおこなう

■ 受信メールサーバーの設定項目

項目	説明
POP3/IMAP4	受信プロトコルを選択します。初期値は「POP3」です。
サーバー名	受信メールサーバーのIPアドレス、またはホスト名を入力します。 例：203.0.113.0、pop.example.com
ポート番号	受信メールサーバーのポート番号を入力します。 初期値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • POP3の場合：110 • IMAP4の場合：143
通信を暗号化する	メールサーバーとの通信にTLSまたはSTARTTLSを使用する場合に選択します。

項目	説明
APOP認証をおこなう	POP3サーバーがAPOP認証に対応している場合に選択します。

4. 送信メールサーバーの情報を入力し、 **次へ** をクリックします。

送信メールサーバー (SMTP)

サーバー名 * 例: smtp.hokkyoku.com

ポート番号 * #

通信を暗号化する

SMTP認証をおこなう

受信後に送信をおこなう (POP before SMTP)

■ 送信メールサーバーの設定項目

項目	説明
サーバー名	送信メールサーバーのIPアドレス、またはホスト名を入力します。 例：203.0.113.0、smtp.example.com
ポート番号	SMTPポート番号を入力します。初期値は25です。
通信を暗号化する	メールサーバーとの通信にTLSまたはSTARTTLSを使用する場合に選択します。
SMTP認証をおこなう	SMTPサーバーがSMTP認証 (SMTP-AUTH認証) に対応している場合に選択します。
	SMTPサーバーがPOP before SMTP認証に対応している場合に選択します。 POP3認証からメールの送信が実行されるまでの時間を「送

項目	説明
受信後に送信をおこなう (POP before SMTP)	信までの待ち時間」のドロップダウンリストから選択します。 初期値は「0秒」です。

5. メールサーバーとメールアカウントを設定したメールアプリケーションで、メールを送受信できるかどうか確認します。

■ メールワイズ 5にメールサーバーを登録済みの場合

「メールサーバー」のドロップダウンリストから、ほかのメールアプリケーションで使用しているメールサーバーを流用するか、新しくメールサーバーを追加するかどうかを選択できます。

[\[詳細\]](#) をクリックすると、ほかのメールアプリケーションで使用しているメールサーバーの詳細が表示されます。

メールアカウントの設定

既存のメールアドレスをメールワイズで使用できるように設定します。 [? メール送受信のメールアカウントの情報を入力してください。](#)

(* は必須項目です。必ず設定してください。)

メールサーバー * [\[詳細\]](#)

メールアドレス *

From に表記する名前

■ エラーメッセージが表示された場合

- メールアカウント名、またはパスワードに関するメッセージが表示された場合：
メールアドレス、メールアカウント名、またはパスワードに誤りがないか、最初の画面に戻って確認します。
- メールサーバーに関するメッセージが表示された場合：
メールサーバー情報が正しいかどうか、前の画面に戻って確認します。

トラブル解決方法や制限事項については、[よくあるご質問](#)を参照してください。

1.4. ほかのメールソフトの設定を流用する方法

次のメールソフトで使用しているメールサーバーとメールアカウントの設定を流用して、メールワイズ 5に設定する手順を説明します。

- Outlook
- Thunderbird
- Becky! Internet Mail

Outlookの場合

Outlookで使用しているメールサーバーとメールアカウントの設定を確認し、確認した情報をメールワイズ 5に設定します。

ここでは、Outlook 2019を例に説明します。

操作手順：

- 1. Outlookを起動します。**
- 2. Outlookの[ファイル]の[アカウント設定]で、[プロファイルの管理]をクリックします。**

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックします。
アップデート前のOutlook 2016をお使いの場合は、[ファイル]の[アカウント設定]で、[アカウント設定]をクリックしたあと、手順5に進みます。
- 3. 「メール設定」画面で、[電子メール アカウント]をクリックします。**
- 4. 「アカウント設定」画面で、「メール」タブを選択し、電子メール アカウントを選択して、[変更]をクリックします。**

「アカウントの変更」画面が表示されます。
- 5. 「アカウントの変更」画面で、必要な情報を確認します。**

次の情報を確認します。

- ユーザー情報
 - 名前
 - 電子メール アドレス
- サーバー情報
 - アカウントの種類
 - 受信メール サーバー
 - 送信メール サーバー (SMTP)
- メール サーバーへのログオン情報
 - アカウント名
 - パスワード：
メールサーバーに登録されているPOP3アカウントのパスワードです。

アカウントの変更

POPとIMAPのアカウント設定
お使いのアカウントのメールサーバーの設定を入力してください。

ユーザー情報
名前(N): 加藤 大輔
電子メール アドレス(E): daisuke-kato@example.com

サーバー情報
アカウントの種類(A): POP3
受信メール サーバー(I): pop.example.com
送信メール サーバー (SMTP)(O): smtp.example.com

メールサーバーへのログオン情報
アカウント名(U): daisuke-kato@example.com
パスワード(P): *****
 パスワードを保存する(S)

アカウント設定のテスト
アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧めします。
アカウント設定のテスト(T)
 [次へ] をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする(S)

メールサーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応している場合は、チェックボックスをオンにしてください(Q)

詳細設定(M)...

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル ヘルプ

6. 必要に応じて[詳細設定]をクリックし、「インターネット電子メール設定」画面で、次の情報を確認します。

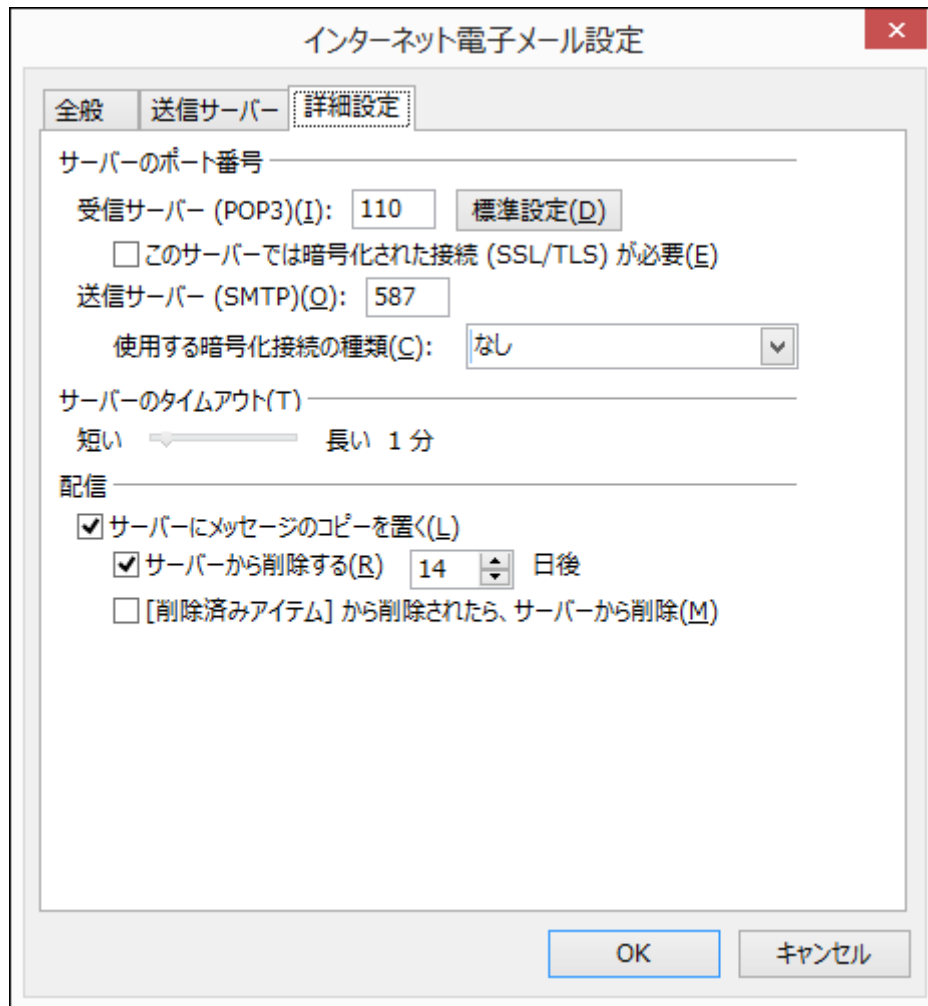
- 「送信サーバー」タブ：
 - 送信サーバーの認証形式

The screenshot shows a dialog box titled 'インターネット電子メール設定' (Internet Email Settings) with a close button (X) in the top right corner. The dialog has three tabs: '全般' (General), '送信サーバー' (Outgoing Server), and '詳細設定' (Advanced Settings). The '送信サーバー' tab is selected. The content of the dialog is as follows:


- 送信サーバー (SMTP) は認証が必要(O)
- 受信メール サーバーと同じ設定を使用する(U)
- 次のアカウントとパスワードでログオンする(L)
 - アカウント名(N):
 - パスワード(P):
 - パスワードを保存する(R)
 - セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応(O)
- メールを送信する前に受信メール サーバーにログオンする(I)

At the bottom of the dialog, there are two buttons: 'OK' and 'キャンセル' (Cancel).

- 「詳細設定」タブ：
 - 受信サーバー、および送信サーバーのポート番号
 - 受信サーバー、および送信サーバーの暗号化接続の種類
 - サーバーにメッセージのコピーを置くかどうか
 - 何日後にメッセージのコピーをサーバーから削除するか



7. メールワイズ 5にログインします。

8. アプリケーションメニューで、メールの送受信を設定する  (メールアプリケーション名) をクリックします。

メールアプリケーションにメールアカウントの情報が設定されていない場合、ポップアップウィンドウが表示されます。

9. ポップアップウィンドウで、メールアカウントの情報を入力します。

- メールアドレス：
Outlookの「電子メール アドレス」を入力します。
- Fromに表記する名前：
Outlookの「名前」を入力します。

10. 受信メールサーバー（POP3、IMAP4）のメールアドレスを入力し、 次へ をクリックします。

- メールアカウント名：
Outlookの「アカウント名」を入力します。
- パスワード：
メールサーバーに登録されているPOP3アカウントのパスワードを入力します。
- 受信メールサーバーにメールを残す：
Outlookの「詳細設定」タブで、「サーバーにメッセージのコピーを置く」を選択している場合に設定します。

11. 受信メールサーバーの情報を入力します。

- POP3/IMAP4：
Outlookと同じ「アカウントの種類」を選択します。

- サーバー名：
Outlookの「受信メール サーバー」を入力します。
- ポート番号：
Outlookの「詳細設定」タブで確認した、受信サーバーのポート番号を入力します。
- 通信を暗号化する：
Outlookの「詳細設定」タブで、「このサーバーでは暗号化された接続（SSL/TLS）が必要」が選択されている場合に選択します。
- APOP認証をおこなう：
Outlookに設定項目はありません。

メールアカウントの設定

メールサーバーの情報を入力してください。 ? メール送受信の設定について

(* は必須項目です。必ず設定してください。# は数値項目です。半角数値を設定してください。)

受信メールサーバー POP3 IMAP4

サーバー名 * 例: pop.hokkyoku.com

ポート番号 * #

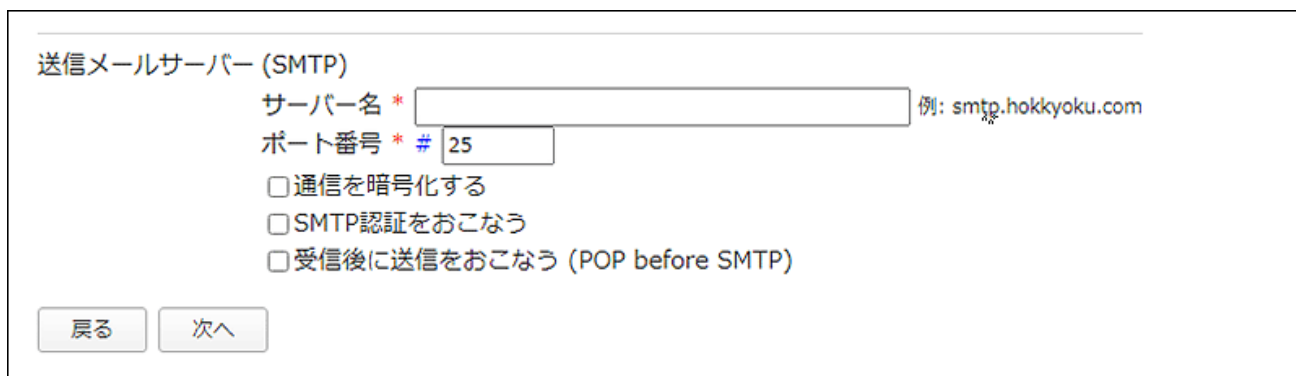
通信を暗号化する

APOP認証をおこなう

12. 送信メールサーバーの情報を入力し、 **次へ** をクリックします。

- サーバー名：
Outlookの「送信メール サーバー」を入力します。
- ポート番号：
Outlookの「詳細設定」タブで確認した、送信サーバーのポート番号を入力します。
- 通信を暗号化する：
Outlookの「詳細設定」タブで、「使用する暗号化接続の種類」が選択されている場合に選択します。
- SMTP認証をおこなう：
Outlookの「送信サーバー」タブで、次のいずれかの項目が選択されている場合に設定します。
 - 受信メール サーバーと同じ設定を使用する

- 次のアカウントとパスワードでログオンする
- 受信後に送信をおこなう（POP before SMTP）：
Outlookの「送信サーバー」タブで、次の項目が選択されている場合に設定します。
 - メールを送信する前に受信メールサーバーにログオンする



送信メールサーバー (SMTP)

サーバー名 * 例: smtp.hokkyoku.com

ポート番号 * #

通信を暗号化する

SMTP認証をおこなう

受信後に送信をおこなう (POP before SMTP)

13. 設定が完了したメールアプリケーションで、メールを送受信できるかどうかを確認します。

Thunderbirdの場合

Thunderbirdで使用しているメールサーバーとメールアカウントの設定を確認し、確認した情報をメールワイズ 5に設定します。

操作手順：

1. Thunderbirdを起動します。

2. [アカウント設定]をクリックします。

「アカウント設定」画面が表示されます。

3. 左ペインで、目的のアカウント名の次のメニューをクリックし、必要な情報を確認します。

- アカウント名：
メールアドレス

- サーバー設定：
受信メールサーバーの情報
- 送信 (SMTP) サーバー：
送信メールサーバーの情報

4. メールワイズ 5 にログインします。

5. アプリケーションメニューで、メールの送受信を設定する (メールアプリケーション名) をクリックします。

メールアプリケーションにメールアカウントの情報が設定されていない場合、ポップアップウィンドウが表示されます。

6. ポップアップウィンドウで、メールアカウントの情報を入力します。

Thunderbird に設定されている値を、同じ番号のメールワイズ 5 の項目に設定します。

Thunderbird の画面例：



アカウント設定 - <daisuke-kato@example.com>

アカウント名(N): daisuke-kato@example.com

既定の差出人情報

このアカウントで使用する既定の差出人情報を設定してください。これはメッセージの差出人が誰であるかを表すために使用されます。

名前(N): 加藤 大輔 **1**

メールアドレス(E): daisuke-kato@example.com **2**

返信先 (Reply-to)(S): 受信者からの返信を受け取るアドレス

メールワイズ 5 の画面例：

メールアカウントの設定

既存のメールアドレスをメールワイズで使用できるように設定します。 [?メール送受信の設定について](#)
メールアカウントの情報を入力してください。

(* は必須項目です。必ず設定してください。)

メールアドレス *

From に表記する名前

受信メールサーバー (POP3、IMAP4) のメールアカウントを入力してください。

メールアドレス名 * 例 : support、support@***.co.jp など

パスワード

受信メールサーバーにメールを残す
└ 期間

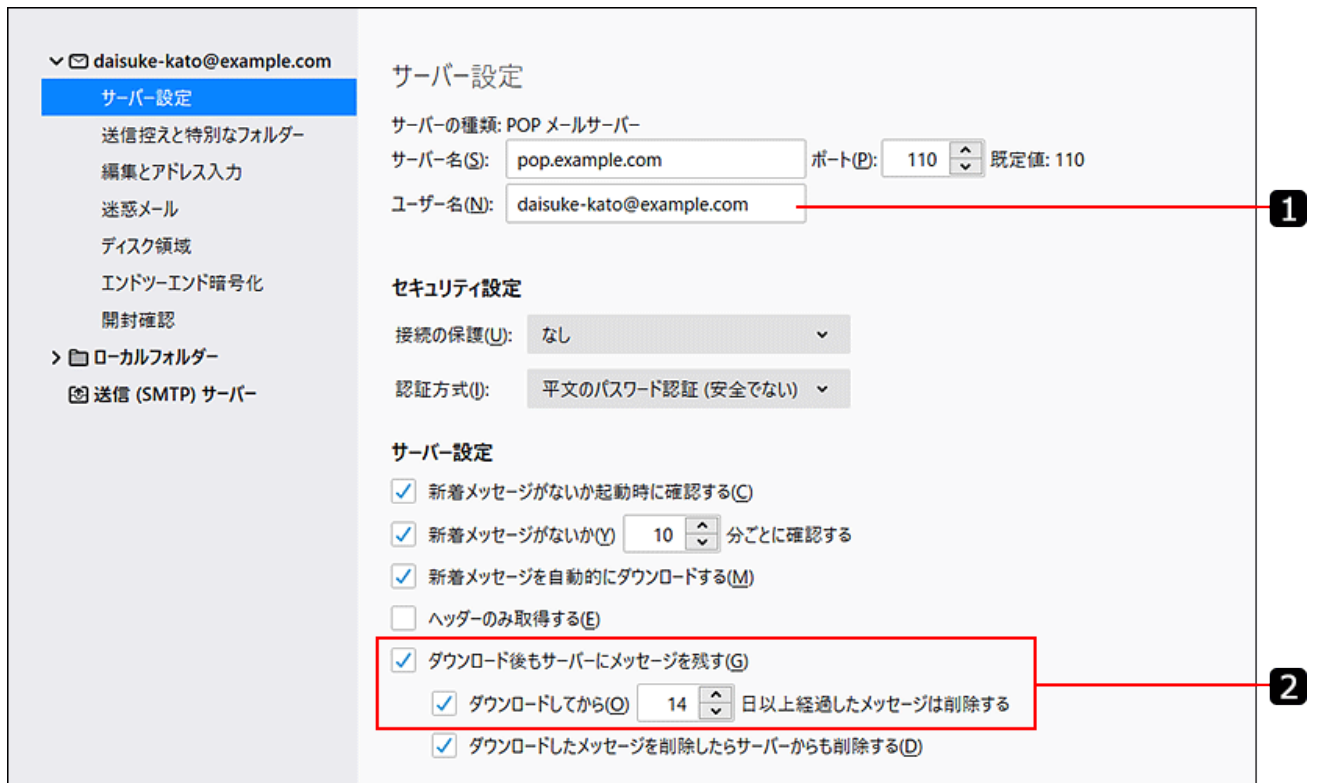
「受信メールサーバーにメールを残す」設定で運用を続けると、
メールの受信に時間がかかるようになります。
本運用時は、メールを残す期間を設定するか、メールを残さない設定にしてください。

[次回から表示しない](#)

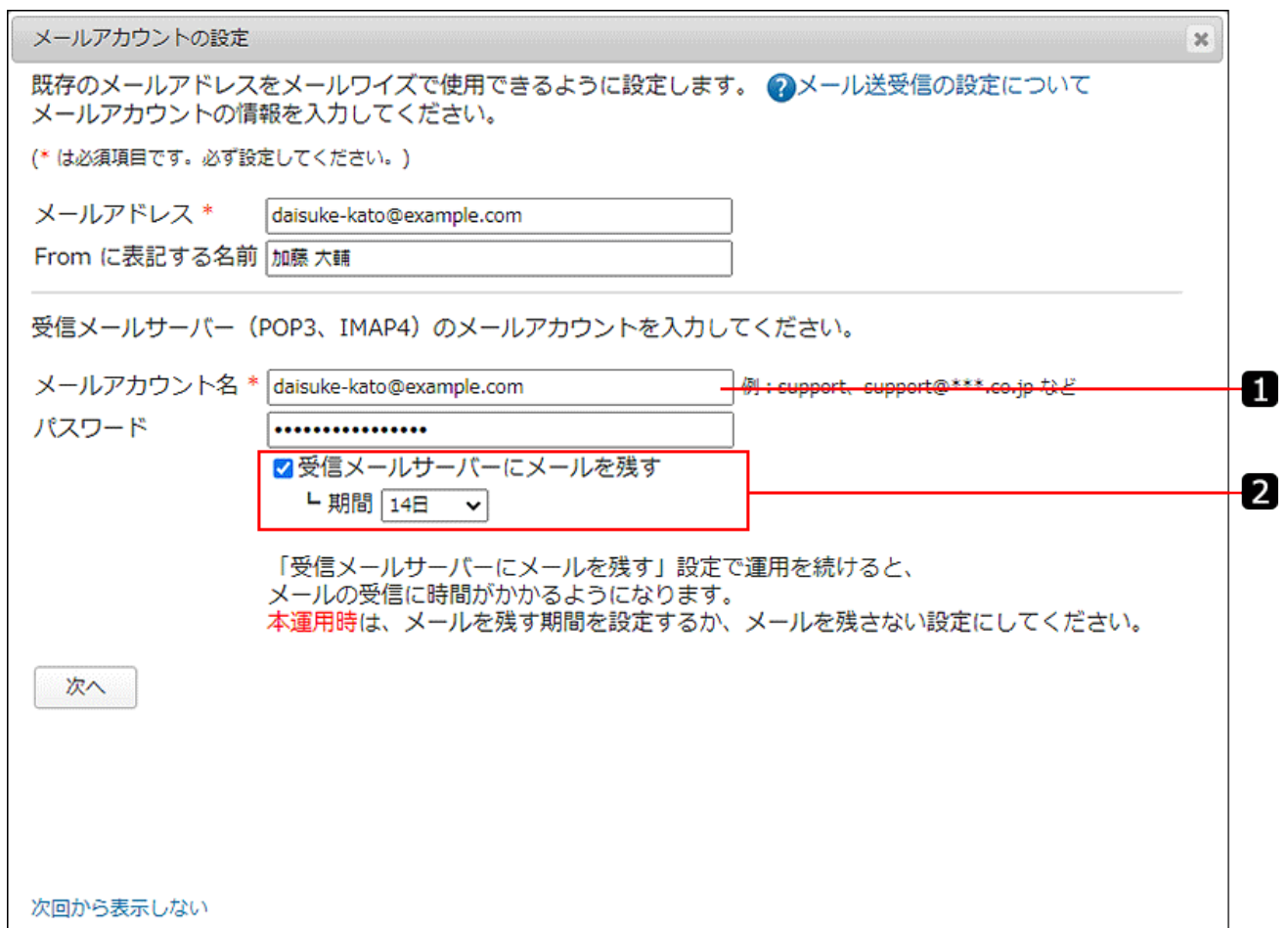
7. 受信メールサーバー (POP3、IMAP4) のメールアカウントを入力し、 をクリックします。

「パスワード」項目には、メールサーバーに登録されているPOP3アカウントのパスワードを入力します。

Thunderbirdの画面例：



メールワイズ 5の画面例：

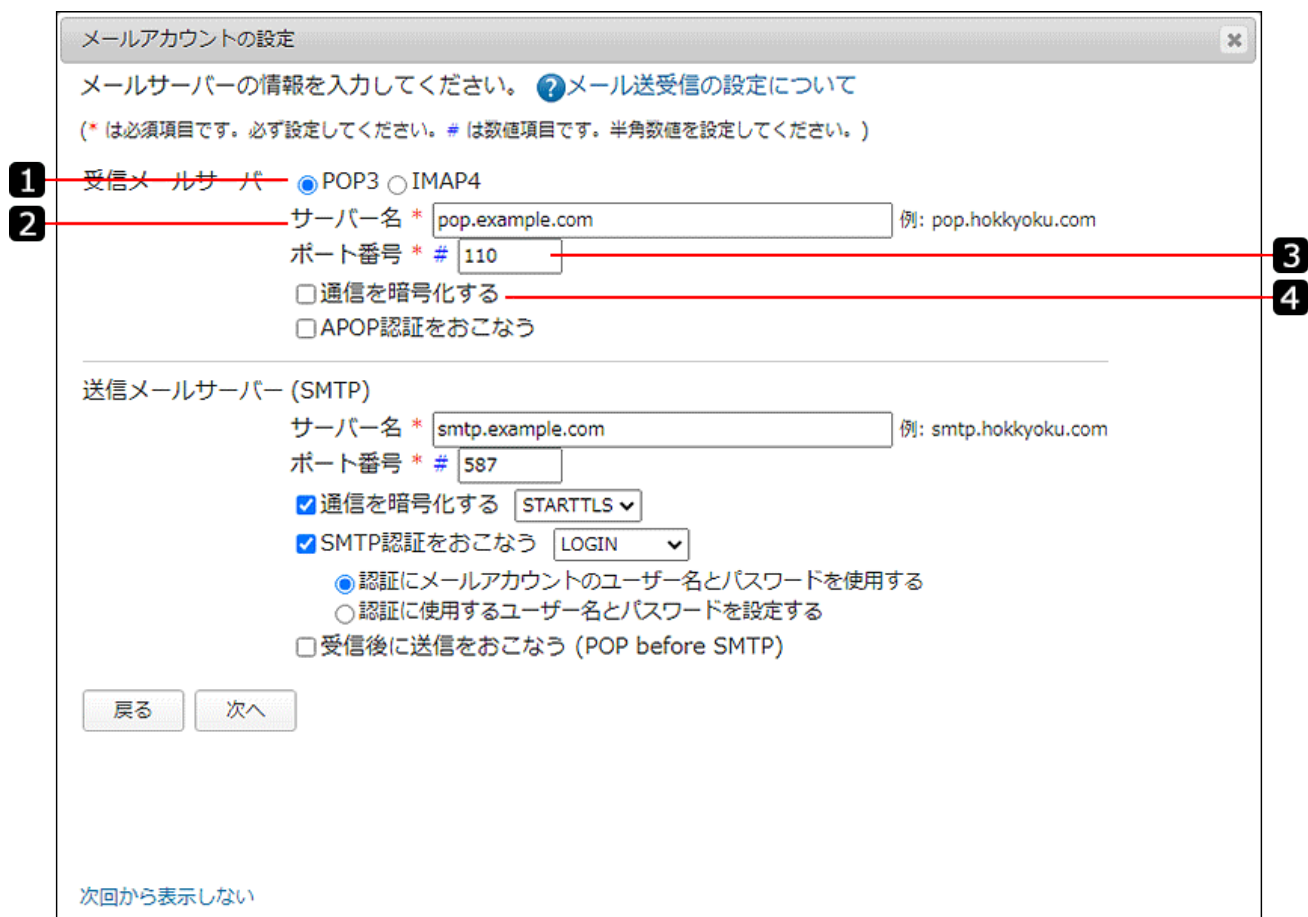


8. 受信メールサーバーの情報を入力します。

Thunderbirdの画面例：



メールワイズ 5の画面例：



9. 送信メールサーバーの情報を入力し、**次へ** をクリックします。

Thunderbirdの画面例：



メールワイズ 5の画面例：

メールアカウントの設定

メールサーバーの情報を入力してください。 ? メール送受信の設定について
(* は必須項目です。必ず設定してください。 # は数値項目です。半角数値を設定してください。)

受信メールサーバー POP3 IMAP4

サーバー名 * 例: pop.hokkyoku.com

ポート番号 * #

通信を暗号化する

APOP認証をおこなう

送信メールサーバー (SMTP)

サーバー名 * 例: smtp.hokkyoku.com

ポート番号 * #

通信を暗号化する

SMTP認証をおこなう

認証にメールアカウントのユーザー名とパスワードを使用する

認証に使用するユーザー名とパスワードを設定する

受信後に送信をおこなう (POP before SMTP)

[次回から表示しない](#)

10. 設定が完了したメールアプリケーションで、メールを送受信できるかどうかを確認します。

Becky! Internet Mailの場合

Becky! Internet Mail (以下、Becky!) で使用しているメールサーバーとメールアカウントの設定を確認し、確認した情報をメールワイズ 5 に設定します。

ここでは、Becky! 12 Ver.2.75.02 を例に説明します。

操作手順：

1. Becky! を起動します。
2. Becky! のツールメニューで、[ツール (T)] をクリックし、[メールボックスの設定] をクリックします。

「メールボックスの設定」画面が表示されます。

3. 表示された画面で次のタブをクリックし、必要な情報を確認します。

- 「基本設定」タブ：
ユーザー情報およびサーバー情報
- 「詳細」タブ：
サーバー情報、ポート番号、および認証形式

4. メールワイズ 5 にログインします。

5. アプリケーションメニューで、メールの送受信を設定する (メールアプリケーション名) をクリックします。

メールアプリケーションにメールアカウントの情報が設定されていない場合、ポップアップウィンドウが表示されます。

6. ポップアップウィンドウで、メールアカウントの情報を入力します。

Becky! に設定されている値を、同じ番号のメールワイズ 5 の項目に設定します。

Becky! の画面例：

[daisuke-kato]の設定

メールボックス名(X): 巡回対象(/)

基本設定 接続 メール作成 受信 詳細

個人情報

名前(N): 1

メールアドレス(A): 2

サーバー情報

受信プロトコル(T): POP3

POP3サーバー (受信) POP3S

SMTPサーバー (送信) (S): OP25B SMTPS

ユーザーID(U): パスワード(P): ●●●●●●●●●●●●●●●●

認証方式(H) 標準 APOP CRAM-MD5 NTLM OAuth2

受信メールをサーバーに残す(L) 日後に削除 (0の場合削除しない) (D)

メールボックスの名前を設定します。
識別しやすい名前を付けましょう。

プロファイル(R):

メールワイズ 5の画面例：

メールアカウントの設定

既存のメールアドレスをメールワイズで使用できるように設定します。 [?メール送受信の設定について](#)
メールアカウントの情報を入力してください。

(* は必須項目です。必ず設定してください。)

メールアドレス *

From に表記する名前

受信メールサーバー (POP3、IMAP4) のメールアドレスを入力してください。

メールアドレス名 * 例 : support、support@***.co.jp など

パスワード

受信メールサーバーにメールを残す
└ 期間

「受信メールサーバーにメールを残す」設定で運用を続けると、
メールの受信に時間がかかるようになります。
本運用時は、メールを残す期間を設定するか、メールを残さない設定にしてください。

[次回から表示しない](#)

7. 受信メールサーバー (POP3、IMAP4) のメールアドレスを入力し、 をクリックします。

「パスワード」項目には、メールサーバーに登録されているPOP3アカウントのパスワードを入力します。

Becky!の画面例：

[daisuke-kato]の設定

メールボックス名(X): daisuke-kato 巡回対象(/)

基本設定 接続 メール作成 受信 詳細

個人情報

名前(N): 加藤 大輔

メールアドレス(A): daisuke-kato@example.com

サーバー情報

受信プロトコル(T): POP3

POP3サーバー (受信) pop.example.com POP3S

SMTPサーバー (送信) (S): smtp.example.com OP25B SMTPS

ユーザーID(U): daisuke-kato@example.com パスワード(P): ●●●●●●●●●●●●●●●●

認証方式(H) 標準 APOP CRAM-MD5 NTLM OAuth2

受信メールをサーバーに残す(L) 14 日後に削除 (0の場合削除しない) (D)

メールボックスの名前を設定します。
識別しやすい名前を付けましょう。

プロファイル(R): (標準) 新規(W) 削除(D)... 取込(Y)

グローバルプロファイル(G)... OK キャンセル ヘルプ

メールワイズ 5の画面例：

メールアカウントの設定

既存のメールアドレスをメールウィズでできるように設定します。 [? メール送受信の設定について](#)
メールアカウントの情報を入力してください。

(* は必須項目です。必ず設定してください。)

メールアドレス *

From に表記する名前

受信メールサーバー (POP3、IMAP4) のメールアカウントを入力してください。

メールアカウント名 * 例 : support、support@***.co.jp など

パスワード

受信メールサーバーにメールを残す
↳ 期間

「受信メールサーバーにメールを残す」設定で運用を続けると、
メールの受信に時間がかかるようになります。
本運用時は、メールを残す期間を設定するか、メールを残さない設定にしてください。

[次回から表示しない](#)

1

2

8. 受信メールサーバーの情報を入力します。

Becky!の画面例：

[daisuke-kato]の設定

メールボックス名(X): 巡回対象(/)

基本設定 接続 メール作成 受信 詳細

個人情報
名前(N):
メールアドレス(A):

サーバー情報
受信プロトコル(T): POP3

POP3サーバー (受信) POP3S

SMTPサーバー (送信) (S): OP25B SMTPS

ユーザーID(U): パスワード(P):

認証方式(H) 標準 APOP CRAM-MD5 NTLM OAuth2

受信メールをサーバーに残す(L) 日後に削除 (0の場合削除しない) (D)

メールボックスの名前を設定します。
識別しやすい名前を付けましょう。

プロファイル(R): (標準)

[daisuke-kato]の設定

メールボックス名(X): daisuke-kato 巡回対象(/)

基本設定 接続 メール作成 受信 詳細

サーバーのポート番号

SMTP:	587	(標準: 25)
POP3:	110	(標準: 110)
IMAP4:	993	(標準: 143)

5

SSL/TLS関連

受信用(C): デフォルト

送信用(I): STARTTLS 1.3

証明書を検証しない(S)

クライアント証明書を使用(F) ...

SMTP認証 OAuth2を使用

CRAM-MD5 LOGIN PLAIN

ユーザーID(U):

パスワード(O):

※省略時は受信用のIDとパスワードを使用

POP before SMTPを使用

認証後 300 ミリ秒待つ 認証用サーバー(A)

ESMTPを使用(W) (SMTP認証には必須)

IMAP関連

IMAPフォルダ:

接続時にフォルダの未読数を更新(V)

ごみ箱をサーバー上に置く(T) ごみ箱のフォルダ名: [Gmail]/Trash

草稿をサーバー上に置く(L) 草稿のフォルダ名: [Gmail]/Drafts

送信済みをサーバー上に置く(E) 送信済みのフォルダ名: [Gmail]/Sent Mail

「タスク」をサーバー上に置く(K) 拡張ネームスペースを表示(H) ↑ 自動取得(Z)

プロファイル(R): (標準) 新規(W) 削除(D)... 取込(Y)

グローバルプロファイル(G)... OK キャンセル ヘルプ

メールワイズ 5の画面例：

メールアカウントの設定

メールサーバーの情報を入力してください。 [?メール送受信の設定について](#)

(* は必須項目です。必ず設定してください。# は数値項目です。半角数値を設定してください。)

受信メールサーバー POP3 IMAP4

サーバー名 * 例: pop.hokkyoku.com

ポート番号 * #

通信を暗号化する

APOP認証をおこなう

送信メールサーバー (SMTP)

サーバー名 * 例: smtp.hokkyoku.com

ポート番号 * #

通信を暗号化する

SMTP認証をおこなう

認証にメールアカウントのユーザー名とパスワードを使用する

認証に使用するユーザー名とパスワードを設定する

受信後に送信をおこなう (POP before SMTP)

[次回から表示しない](#)

9. 送信メールサーバーの情報を入力し、 **次へ** をクリックします。

Becky!の画面例：

[daisuke-kato]の設定

メールボックス名(X): 巡回対象(/)

基本設定 接続 メール作成 受信 詳細

個人情報

名前(N):

メールアドレス(A):

サーバー情報

受信プロトコル(T):

POP3サーバー (受信) POP3S

1 SMTPサーバー (送信) (S): OP25B **SMTPS** **2**

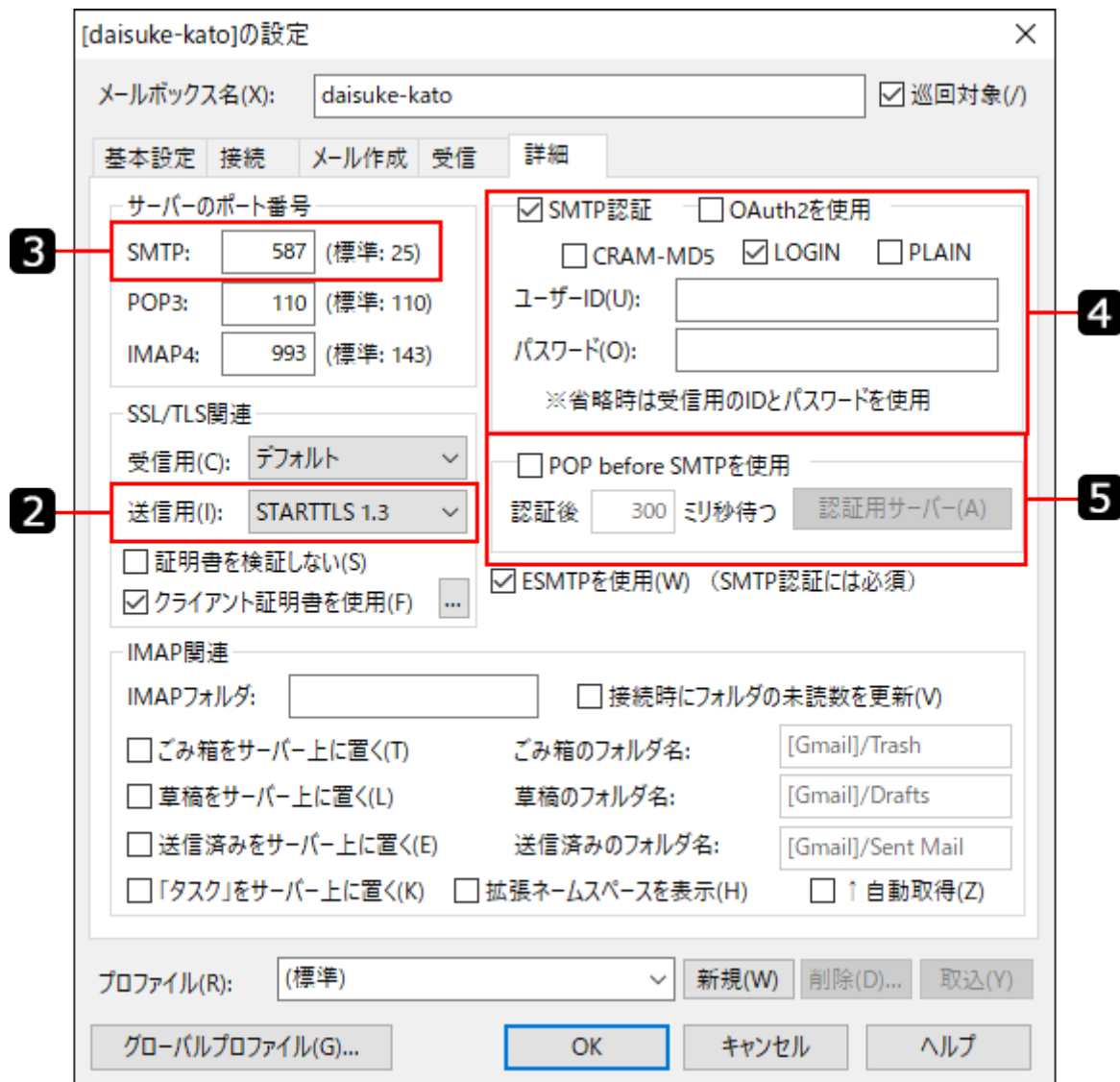
ユーザーID(U): パスワード(P):

認証方式(H) 標準 APOP CRAM-MD5 NTLM OAuth2

受信メールをサーバーに残す(L) 日後に削除 (0の場合削除しない) (D)

メールボックスの名前を設定します。
識別しやすい名前を付けましょう。

プロファイル(R):



メールワイズ 5の画面例：

メールアカウントの設定

メールサーバーの情報を入力してください。 [?](#)メール送受信の設定について

(* は必須項目です。必ず設定してください。# は数値項目です。半角数値を設定してください。)

受信メールサーバー POP3 IMAP4

サーバー名 * 例: pop.hokkyoku.com

ポート番号 * #

通信を暗号化する

APOP認証をおこなう

送信メールサーバー (SMTP)

サーバー名 * 例: smtp.hokkyoku.com

ポート番号 * #

通信を暗号化する

SMTP認証をおこなう

認証にメールアカウントのユーザー名とパスワードを使用する

認証に使用するユーザー名とパスワードを設定する

受信後に送信をおこなう (POP before SMTP)

戻る 次へ

[次回から表示しない](#)

10. 設定が完了したメールアプリケーションで、メールを送受信できるかどうかを確認します。

1.5. 利用開始時にユーザーが行うこと

メールワイズ 5を初めて利用する際に、ユーザーが行う設定と作業の流れを説明します。

Steps:

- Step 1 システム管理者にログインするために必要な情報を確認します。
- Step 2 メールワイズ 5にログインします。
- Step 3 自分のパスワードを変更します。
- Step 4 個人設定で、自分のプロフィールやメール通知の設定をします。

Step 5 [メールワイズ 5の基本的な操作を確認します。](#)

Step 6 [メールワイズ 5の利用を開始します。](#)

Step 1

システム管理者にログインするために必要な情報を確認します。

次の情報を確認します。

- アクセスURL
- ログイン名
- パスワード

Step 2

メールワイズ 5にログインします。

次の手順で、メールワイズ 5にログインします。

1. アクセスURLにアクセスします。
2. 手順1のURLをWebブラウザのブックマークやお気に入りに追加します。
URLをお気に入りに追加する手順の詳細は、[ログイン画面をお気に入りに登録する方法\(47ページ\)](#)を参照してください。
3. ログイン名とパスワードを入力し、ログインします。

Step 3

自分のパスワードを変更します。

詳細は、[パスワードの変更](#)を参照してください。

Step1のパスワードを継続して使用する場合は、パスワードの変更は不要です。Step4に進みます。

**Step
4**

個人設定で、自分のプロフィールやメール通知の設定をします。

自分のプロフィールを設定する手順は、[ユーザー情報の変更](#)を参照してください。
メールの担当者または確認者に設定されたことや、メールを受信した時にメールで知らせる機能があります。設定方法の詳細は、[通知の設定](#)を参照してください。

**Step
5**

メールワイズ 5の基本的な操作を確認します。

詳細は、[基本的な操作](#)を参照してください。

**Step
6**

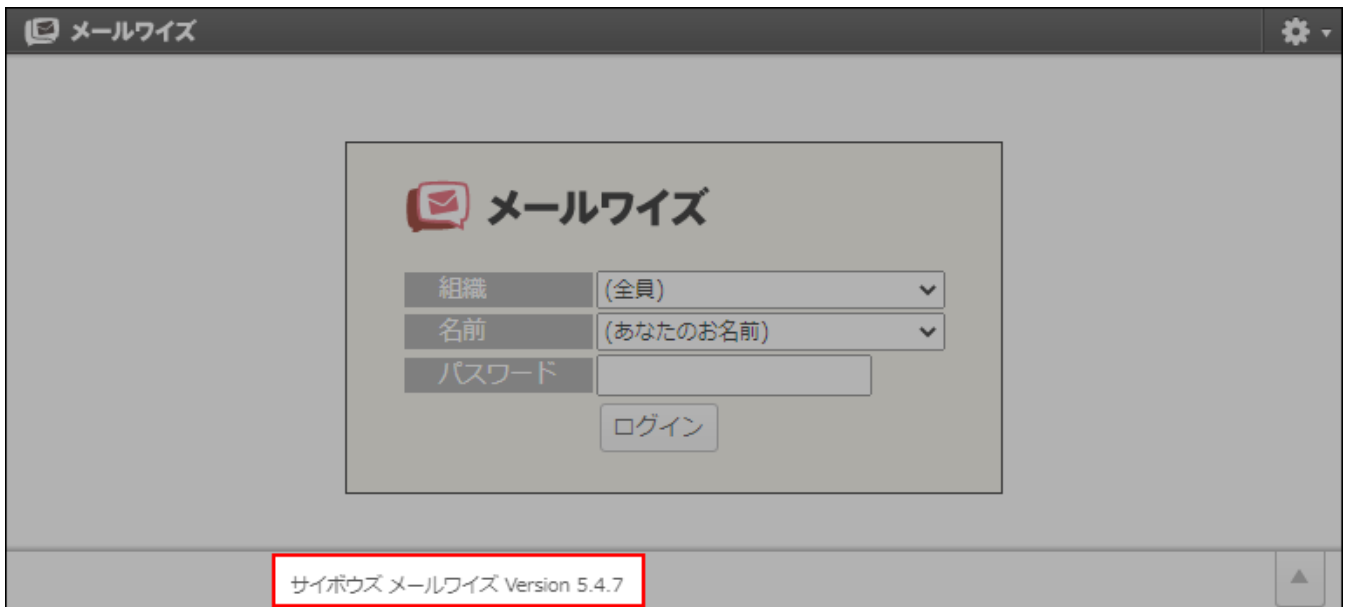
メールワイズ 5の利用を開始します。

必要に応じて、[ユーザーマニュアル](#)を参照してください。

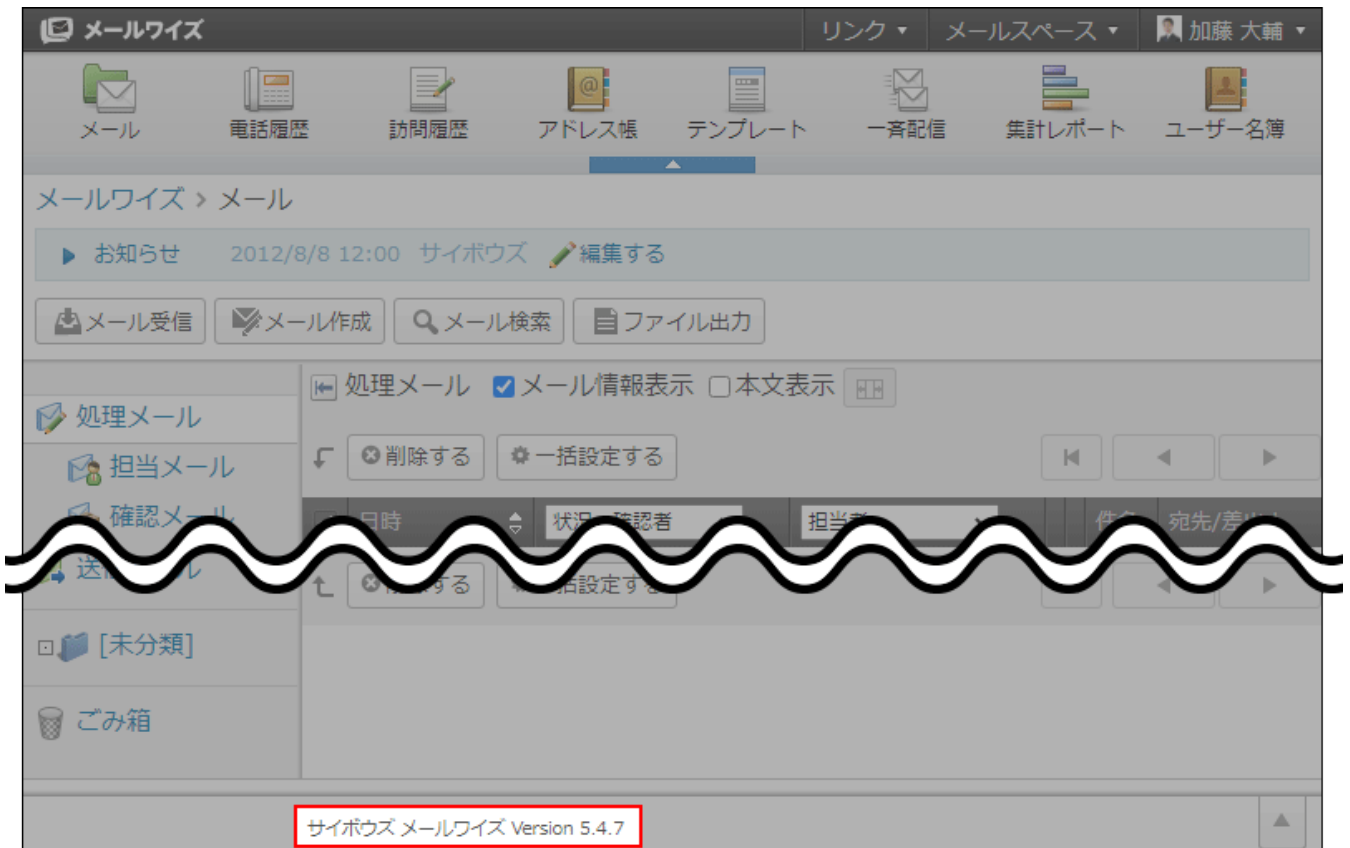
1.6. 製品バージョンの確認

製品バージョンは、製品画面のフッターで確認できます。

- ログイン画面の例：



- ログイン後の画面の例：



1.7. ログイン画面をお気に入りに登録する方法



メールワイズ 5にアクセスしやすくなるよう、アクセスURLをWebブラウザのお気に入り（ブックマーク）に追加します。

Google Chromeの場合

ここでは、次の環境でお使いの場合を例に説明します。

- OS : Windows 10 Pro
- Webブラウザ : Google Chrome

操作手順 :

1. Google Chromeを起動し、メールワイズ 5のログイン画面を表示します。
2. アドレスバーの右にある  をクリックします。
3. ブックマークの名前とフォルダを設定し、  をクリックします。





4. ブックマークに追加されていることを確認します。

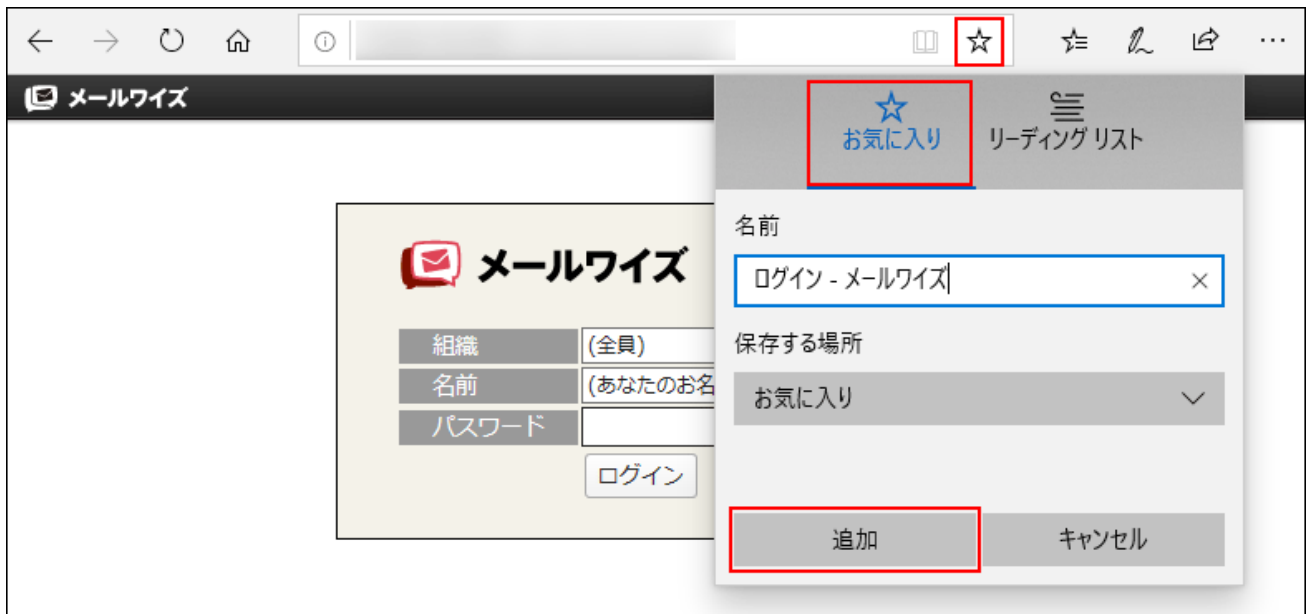



Microsoft Edgeの場合

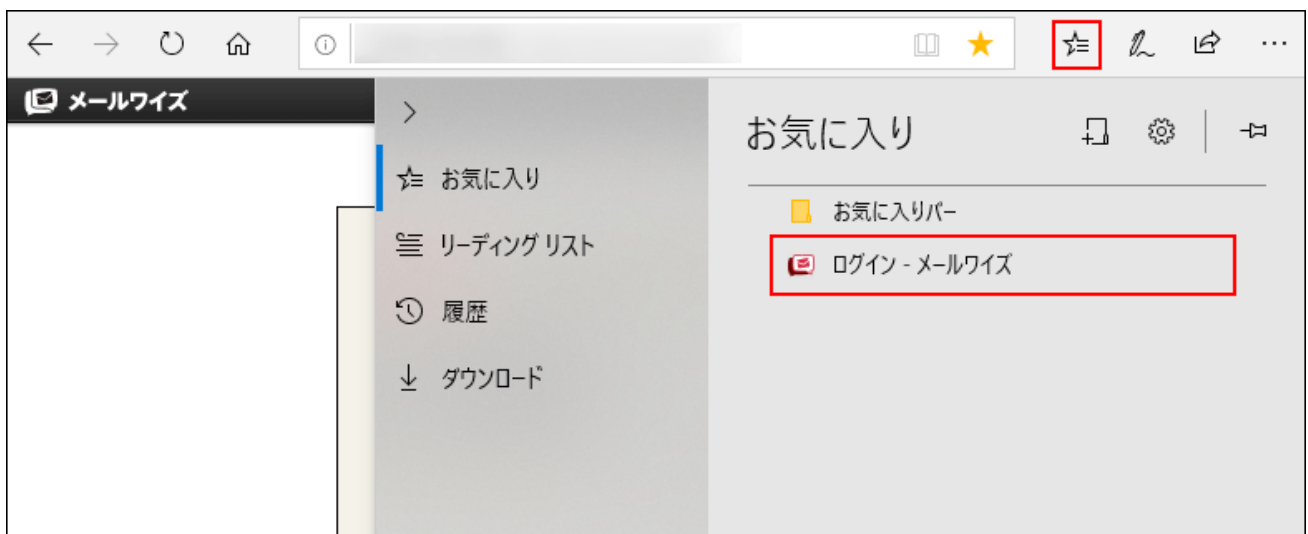
ここでは、次の環境でお使いの場合を例に説明します。

- OS : Windows 10 Pro
- Webブラウザ : Microsoft Edge

1. Microsoft Edgeを起動し、メールワイズ 5のログイン画面を表示します。
2. ツールバーの  をクリックします。
3. お気に入りに登録する名前と保存する場所を指定し、  をクリックします。



4. ツールバーの  をクリックし、お気に入りに追加されていることを確認します。



5. 設定ウィンドウ以外の場所をクリックして、設定ウィンドウを閉じます。

2章 インストール

メールワイズ 5を新規にインストールする手順を説明します。

関連ページ

- [Windows版のインストール\(52ページ\)](#)
 - [バージョンアップ\(80ページ\)](#)
-

2.1. インストールで使う用語

メールワイズ 5のインストール操作で使う用語を紹介します。

インストール識別子とは

インストール識別子は、メールワイズ 5を識別するための文字列です。アクセスURLの一部に使用されます。

初期値のままインストールすると、「cbmw」がインストール識別子になります。

任意の文字列を指定する場合は、次の条件を確認してください。

- 使用できる文字：「A-Z」「a-z」「0-9」「-, () \$!_'.+」
- 使用できない文字：先頭または末尾の「.」
- 設定できる文字数：最大20文字

サーバーにすでにメールワイズ 5をインストールしている場合、新しくインストールするメールワイズ 5に、既存のメールワイズ 5と異なるインストール識別子を設定する必要があります。

CGIディレクトリとは

CGIディレクトリは、CGIプログラムの実行が許可されている、Webサーバー上のディレクトリです。

インストール時に、CGIディレクトリ配下に「cbmw（インストール識別子）」ディレクトリが作成され、メールワイズ 5の実行ファイルが保存されます。

データディレクトリとは

データディレクトリは、メールワイズ 5が動作するために必要なデータを保存するディレクトリです。

メールワイズ 5のインストーラーが作成します。

データディレクトリのファイル構成の詳細は、[データディレクトリ](#)のページを参照してください。

ドキュメントルートディレクトリとは

ドキュメントルートディレクトリは、外部に公開するコンテンツを格納する、Webサーバー上のディレクトリです。

ドキュメントルートディレクトリを変更すると、メールワイズ 5の画面に、正しく画像が表示されない場合があります。

ドキュメントルートディレクトリ配下には、インストーラーのバージョンに応じて、バージョン固有のディレクトリが作成されます。たとえば、バージョン 5.4.7のインストーラーを使用すると、「cbmw540」ディレクトリが作成されます。

このバージョン固有のディレクトリに、画面表示に必要な画像ファイルなどの静的ファイルが保存されます。

バージョン固有のディレクトリのファイル構成の詳細は、[ドキュメントルートディレクトリ](#)のページを参照してください。

2.2. Windows版のインストール

お知らせ

- メールワイズ 5は、販売とサポートが終了します。
詳細は、製品サイトの[販売・サポート終了のお知らせ](#)を参照してください。

Windowsにメールワイズ 5をインストールする手順を説明します。

操作手順：

1. インストールする環境を確認します。

項目	説明
ユーザーの権限	インストールする際に、Administrator権限を持つユーザーで、サーバーにログインする必要があります。
サーバーやネットワークの環境	お使いのサーバーやネットワーク環境が、製品サイトに掲載されている 動作環境 と合っていることを確認します。
サーバーの設定日時	サーバーの設定日時が、正しいかどうかを確認します。日時が正しく設定されていないと、正常に動作しない恐れがあります。
ドライブの空き容量	インストール先のドライブに、50MB以上の空き容量があることを確認します。
常駐アプリケーションやプロセス	サーバーで、アプリケーションのプロセスやWindowsプログラムが終了していることを確認します。セキュリティやバックアップなどの常駐アプリケーションやプロセスが動いていると、影響を受けてしまう可能

項目	説明
	性があるため、停止した状態で実施することを推奨しています。

2. インターネットインフォメーションサービス (IIS) 10.0をインストールします。

IIS 10.0はメールワイズ 5の動作環境のWebサーバーです。サーバーにIIS 10.0をインストールし、アクセス権の設定や仮想ディレクトリの作成など、必要な設定を行ってください。詳細は、サポートガイドの[IIS 10.0のインストール](#)を参照してください。

3. 最新のインストーラーを入手します。

インストーラーは、製品サイトの[パッケージ版ダウンロード](#)のページからダウンロードしてください。

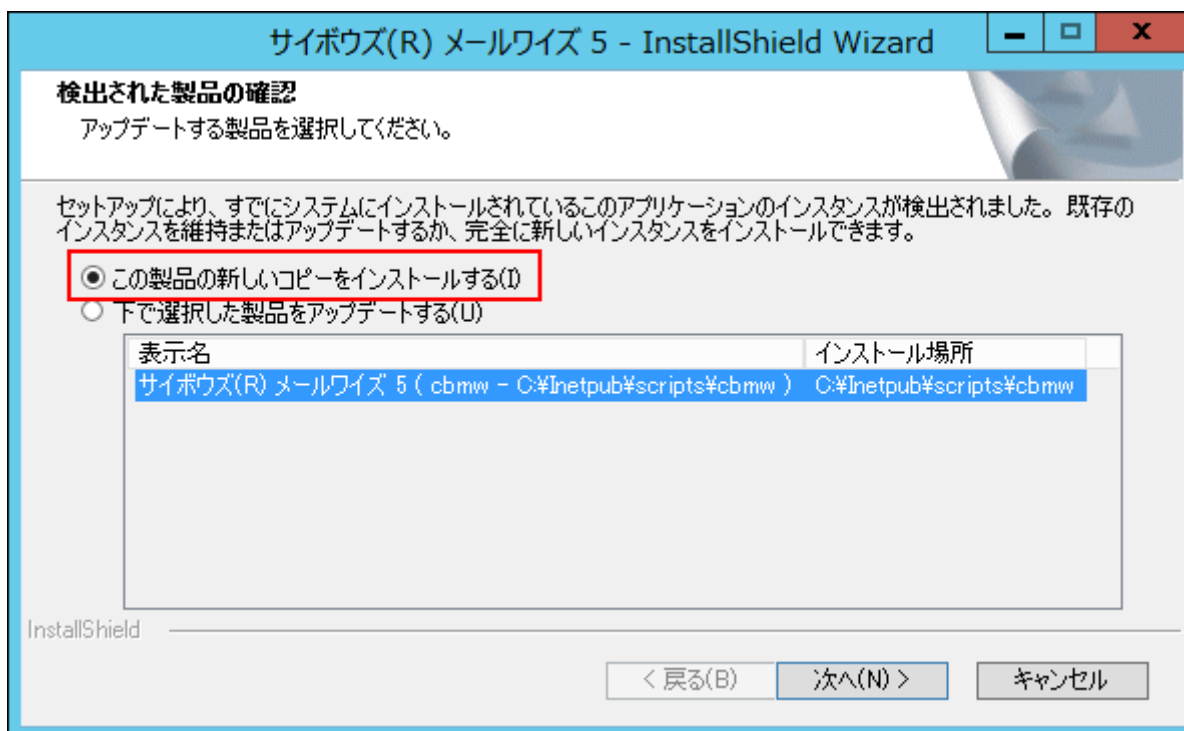
4. サーバーにダウンロードしたインストーラー「cbmw-5.x.x-windows.exe」を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。

インストーラーが起動します。

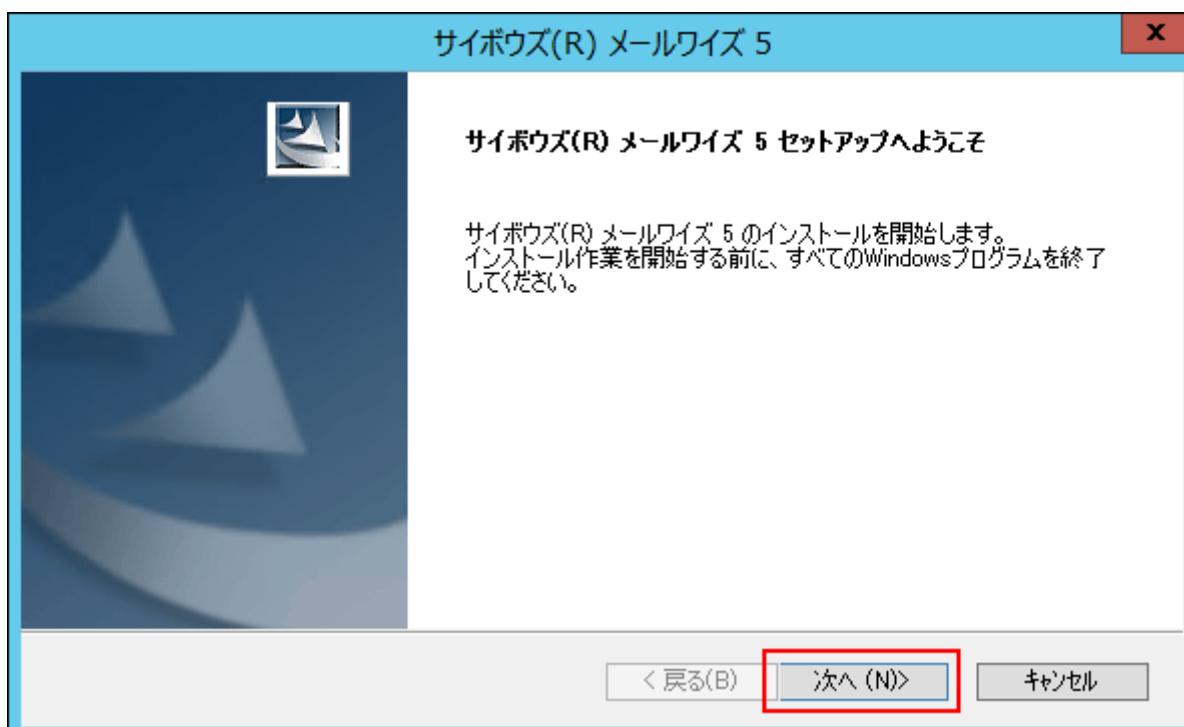
• 同じサーバーにメールワイズ 5がすでにインストールされている場合：

1つのサーバーに、複数のメールワイズ 5をインストールする場合は、「この製品の新しいコピーをインストールする」を選択し、をクリックします。

あとの手順8で、既存のメールワイズ 5と異なるインストール識別子を設定してください。



5. **次へ** をクリックします。



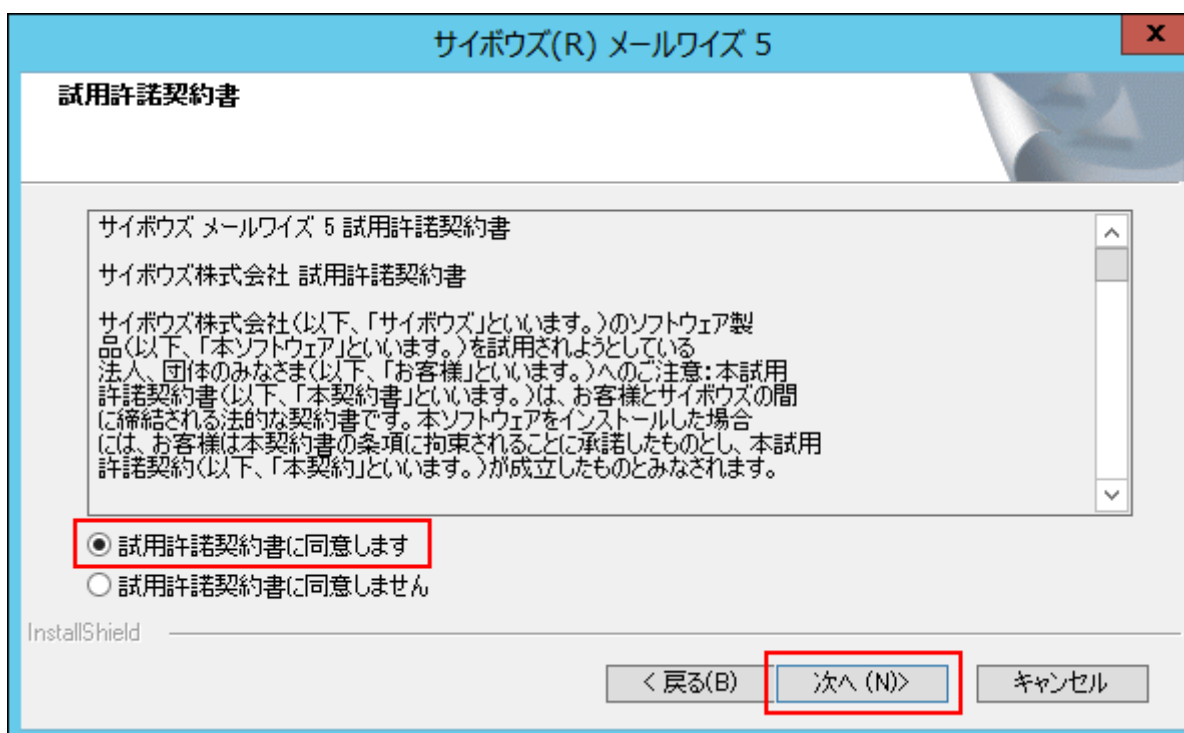
6. 試用許諾契約書を確認し、同意する場合は「試用許諾契約書に同意します」を選択して、**次へ** をクリックします。

- 試用許諾契約書に同意しない場合：

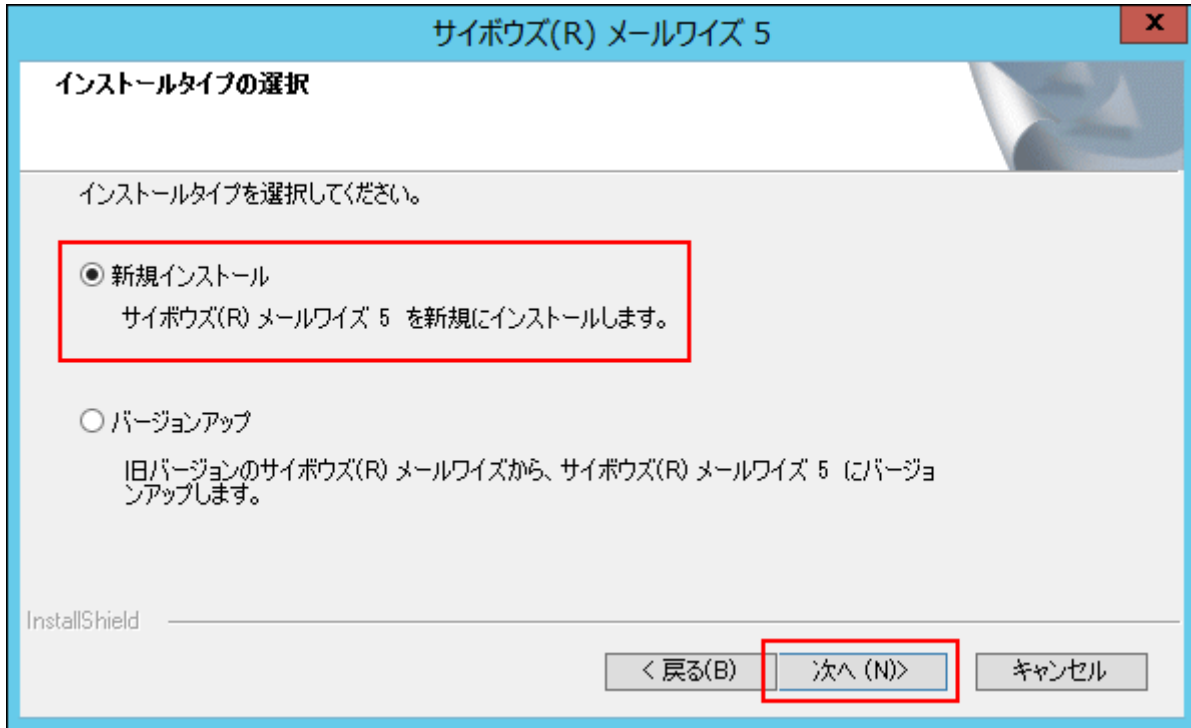
キャンセル をクリックし、インストールを中止します。

- 1つ前の手順に戻る場合：

戻る をクリックします。



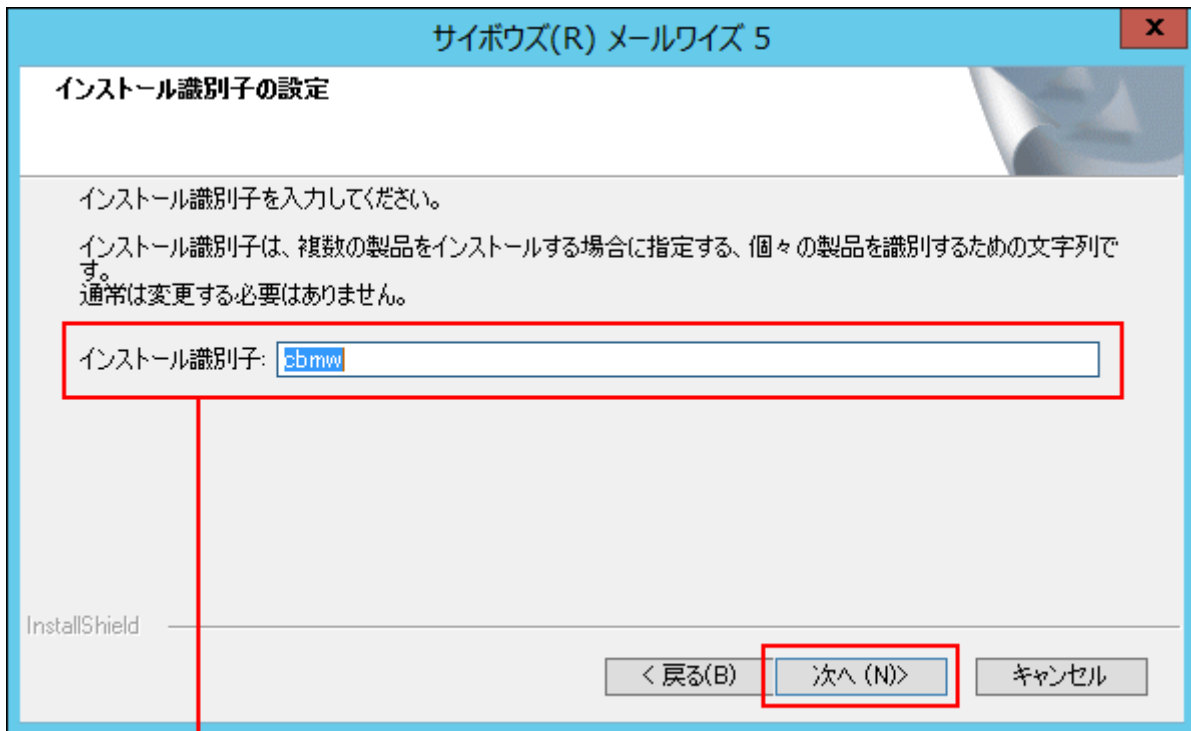
7. 「新規インストール」を選択し、**次へ** をクリックします。



8. インストール識別子を確認し、**次へ** をクリックします。

通常はインストール識別子を変更する必要はありません。ただし、1つのサーバーに複数のメールワイズをインストールする場合は、既存のメールワイズと異なるインストール識別子を設定する必要があります。

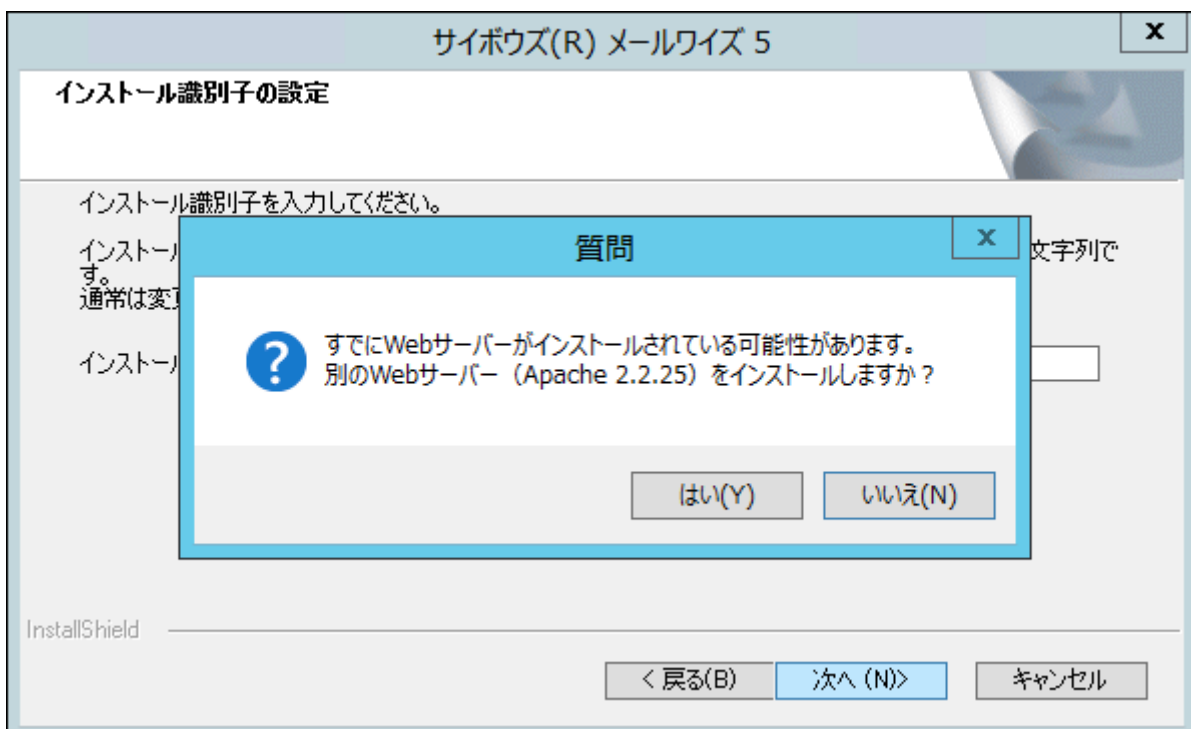
インストール識別子についての詳細は、[インストール識別子とは\(50ページ\)](#)を参照してください。



変更する場合は、任意の文字列を入力します。

次のいずれかに該当する場合は、WebサーバーのApacheをあわせてインストールするかどうかを確認する画面が表示されます。

- サーバーにWebサーバーがインストールされていない。
- すでにインストールされているWebサーバーを停止している。
- Webサーバーのポート番号が80番から変更されている。



メールワイズは、WebサーバーにApacheを使用したサポートを2017年12月末で終了しました。

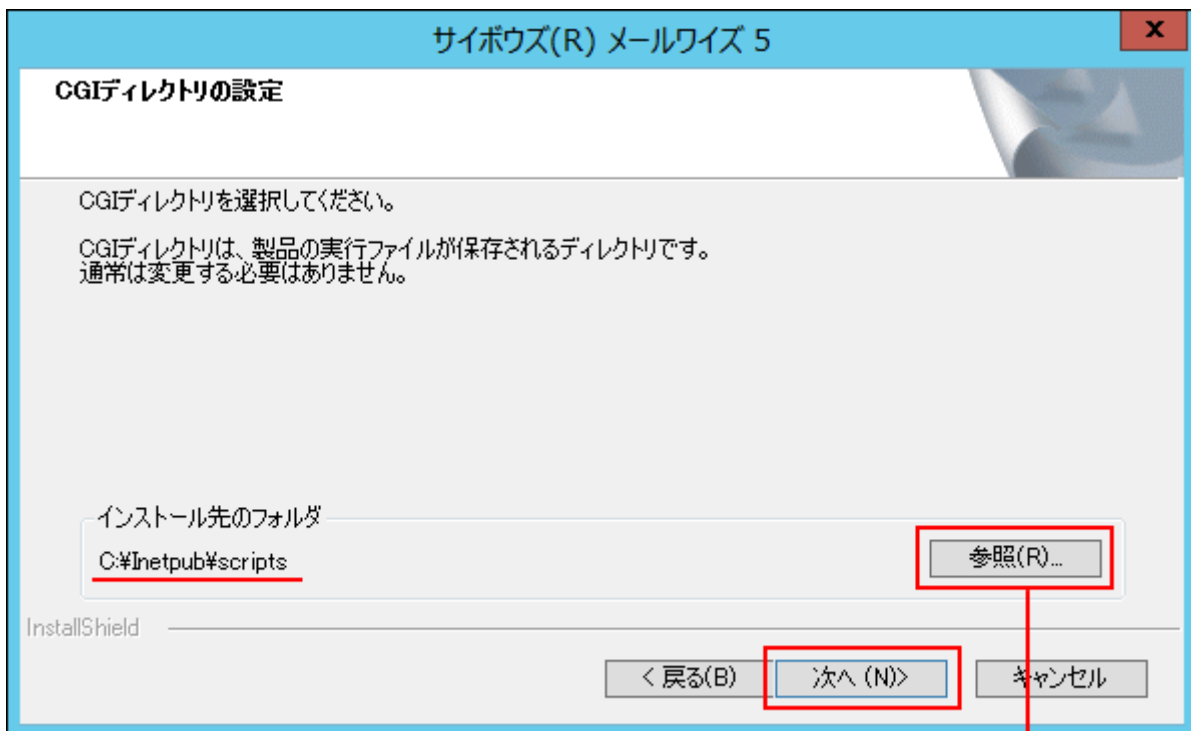
いいえ をクリックし、インストールをキャンセルして、手順2に戻り、IISのWebサーバーの設定が完了しているかどうかを確認してから、再度インストールを実施してください。

9. CGIディレクトリを確認し、**次へ** をクリックします。

通常はCGIディレクトリを変更する必要はありません。変更する場合は **参照** をクリックし、CGIディレクトリを指定します。

初期値に設定されているCGIディレクトリは、お使いのWebサーバーによって異なります。

CGIディレクトリについての詳細は、[CGIディレクトリとは\(51ページ\)](#)を参照してください。



CGIディレクトリを変更する場合にクリックします。

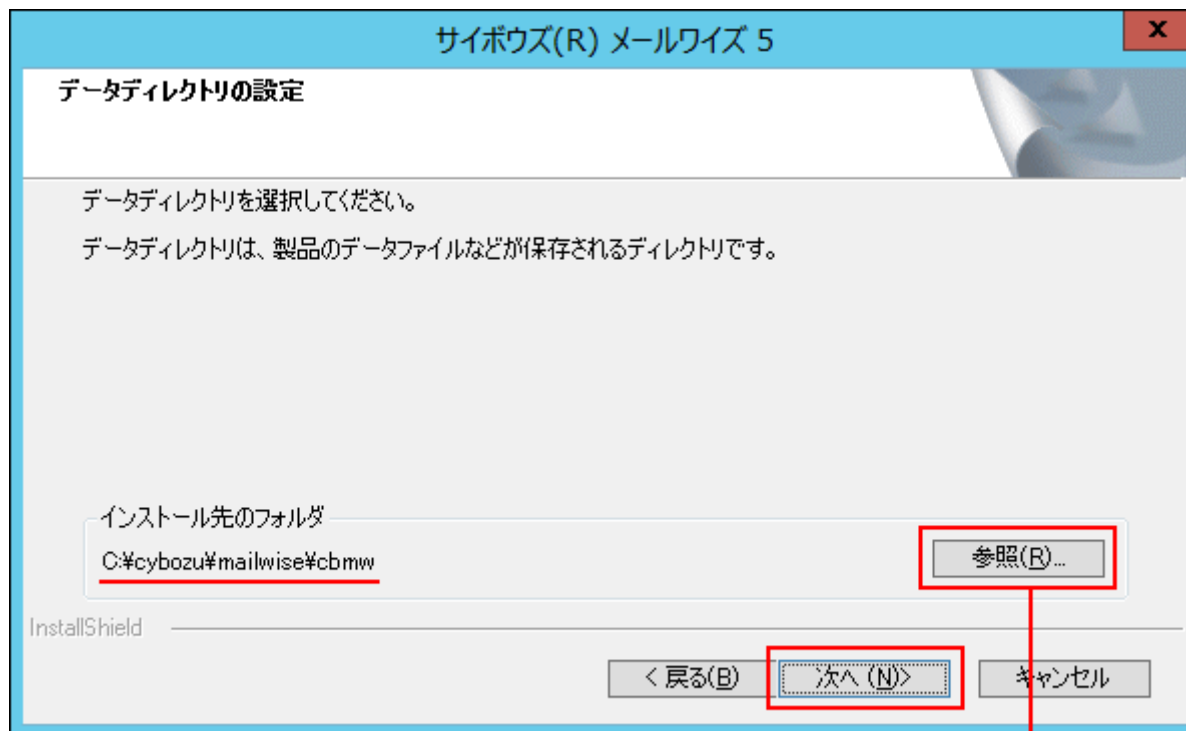
10. データディレクトリを確認し、**次へ** をクリックします。

通常はデータディレクトリを変更する必要はありません。変更する場合は **参照** をクリックし、データディレクトリを指定します。

初期値に設定されているデータディレクトリは、次のとおりです。

- C:\cybozu\mailwise\ (インストール識別子)

データディレクトリについての詳細は、[データディレクトリとは\(51ページ\)](#)を参照してください。



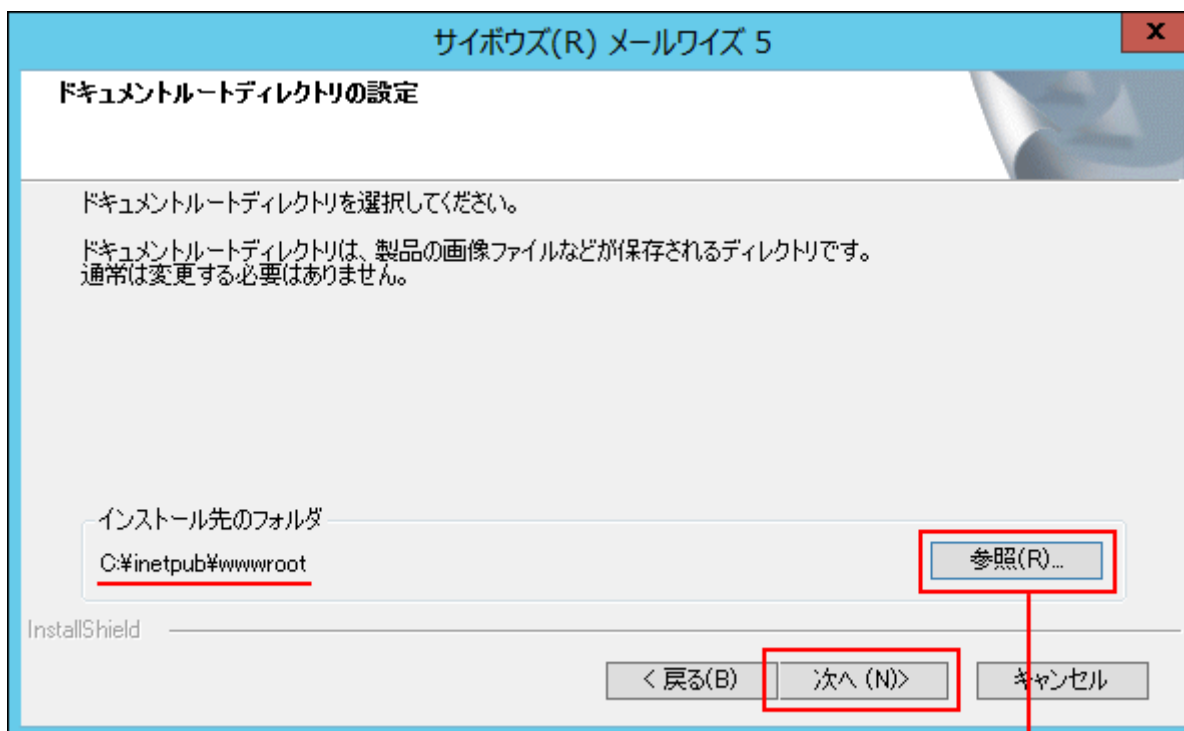
データディレクトリを変更する場合にクリックします。

11. ドキュメントルートディレクトリを確認し、 **次へ** をクリックします。

通常はドキュメントルートディレクトリを変更する必要はありません。変更する場合は **参照** をクリックし、ドキュメントルートディレクトリを指定します。

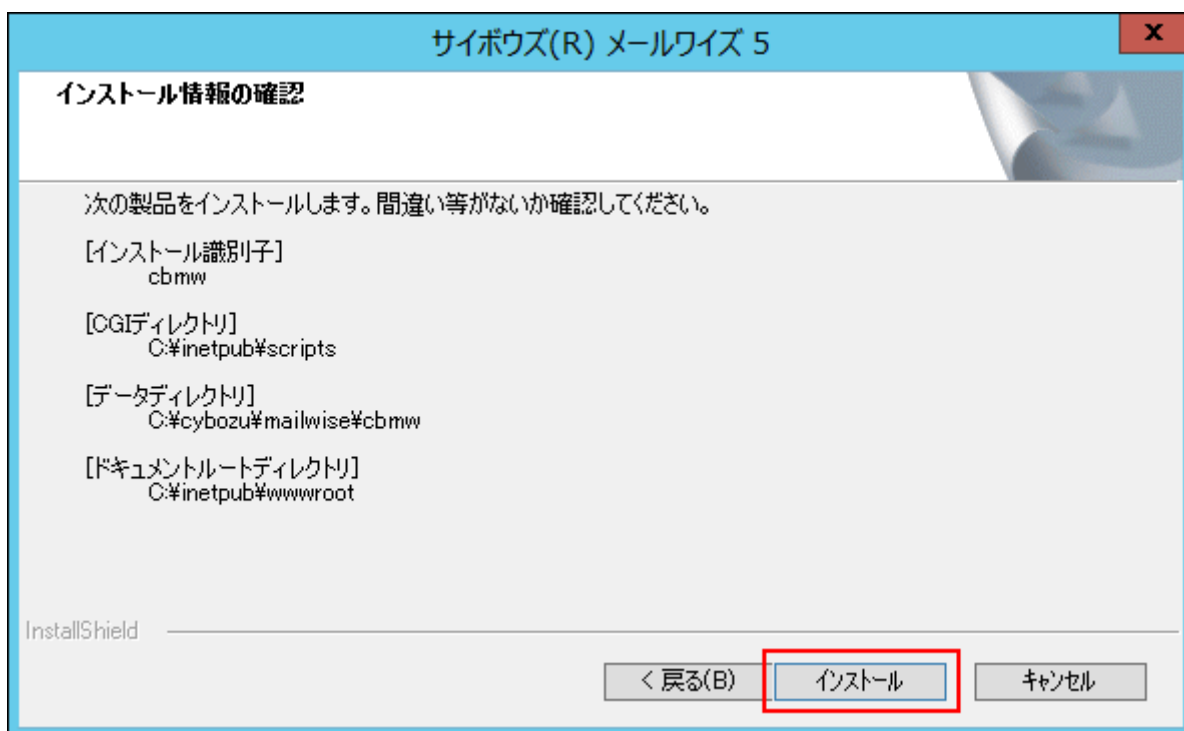
初期値に設定されているドキュメントルートディレクトリは、お使いのWebサーバーによって異なります。

ドキュメントルートディレクトリについての詳細は、[ドキュメントルートディレクトリとは\(51ページ\)](#)を参照してください。

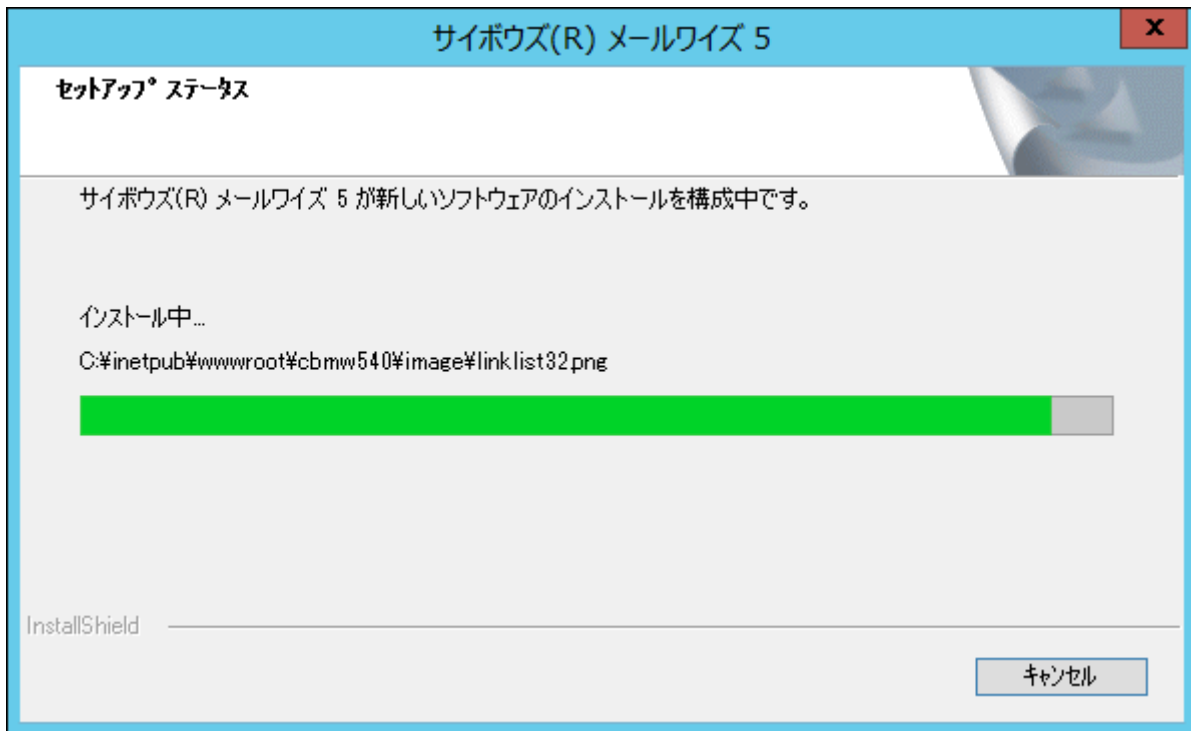


ドキュメントルートディレクトリを変更する場合にクリックします。

12. 設定を確認し、**インストール** をクリックします。

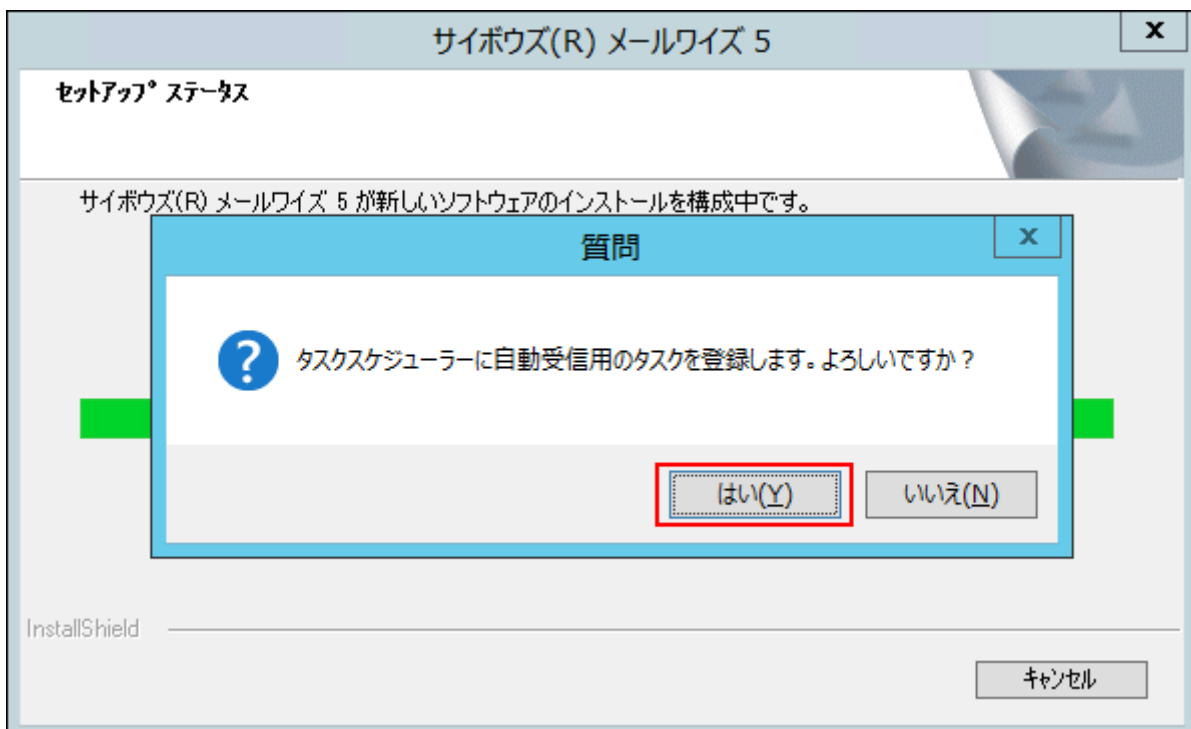


インストールが始まります。



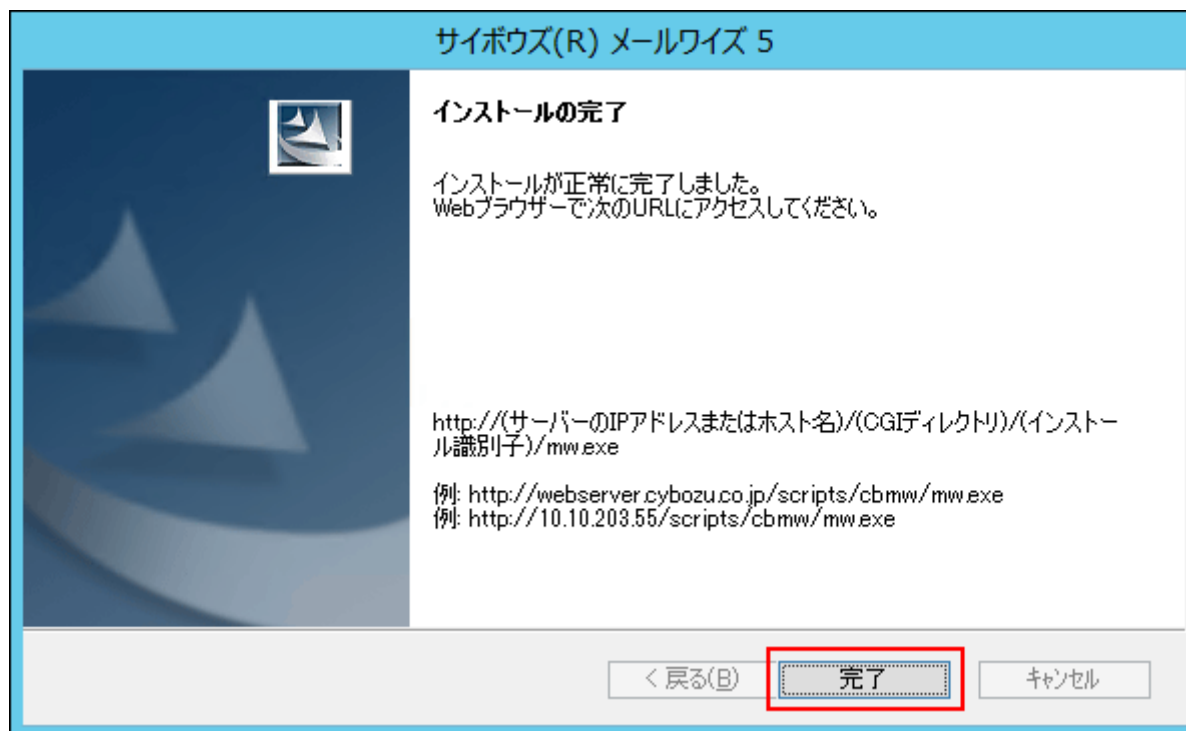
13. 自動受信用のタスクを登録する場合は、**はい** をクリックします。

メールの自動受信や定期チェックを利用する場合は、自動受信用のタスク (createmwtask.bat) をメールワイズ 5に登録する必要があります。

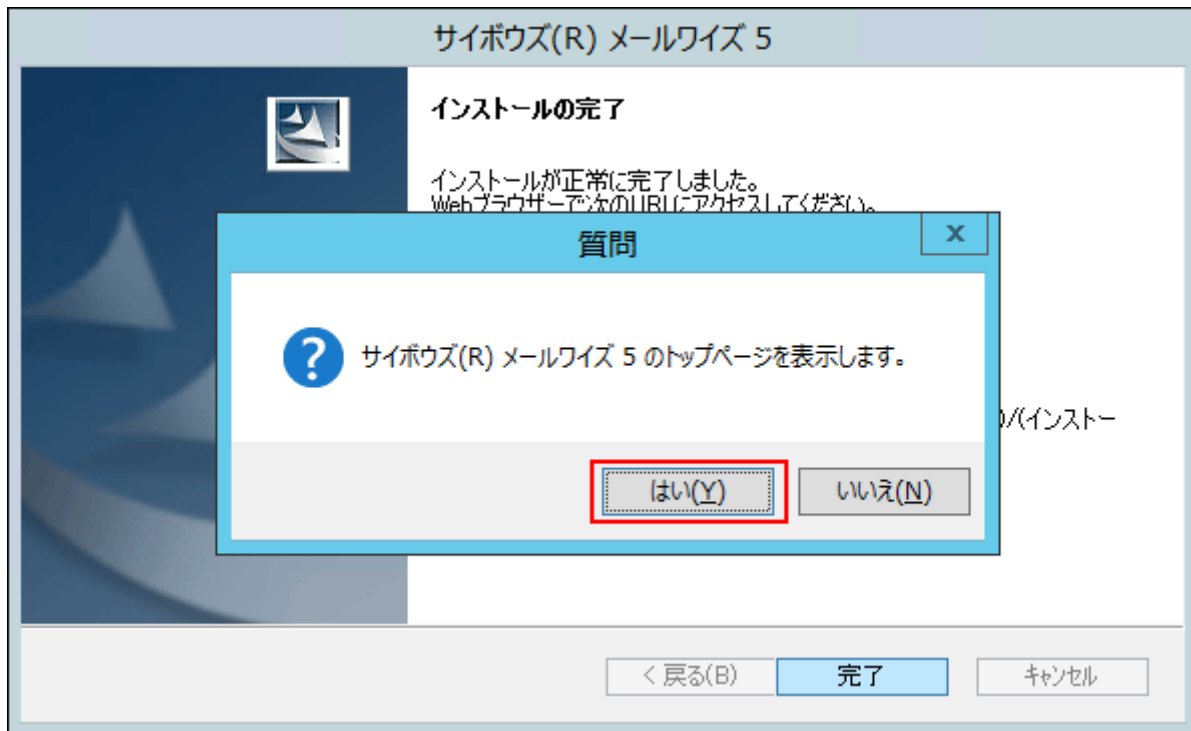


インストール後に自動受信用のタスクを登録することもできます。
詳細は、[自動受信用のタスクの管理](#)を参照してください。

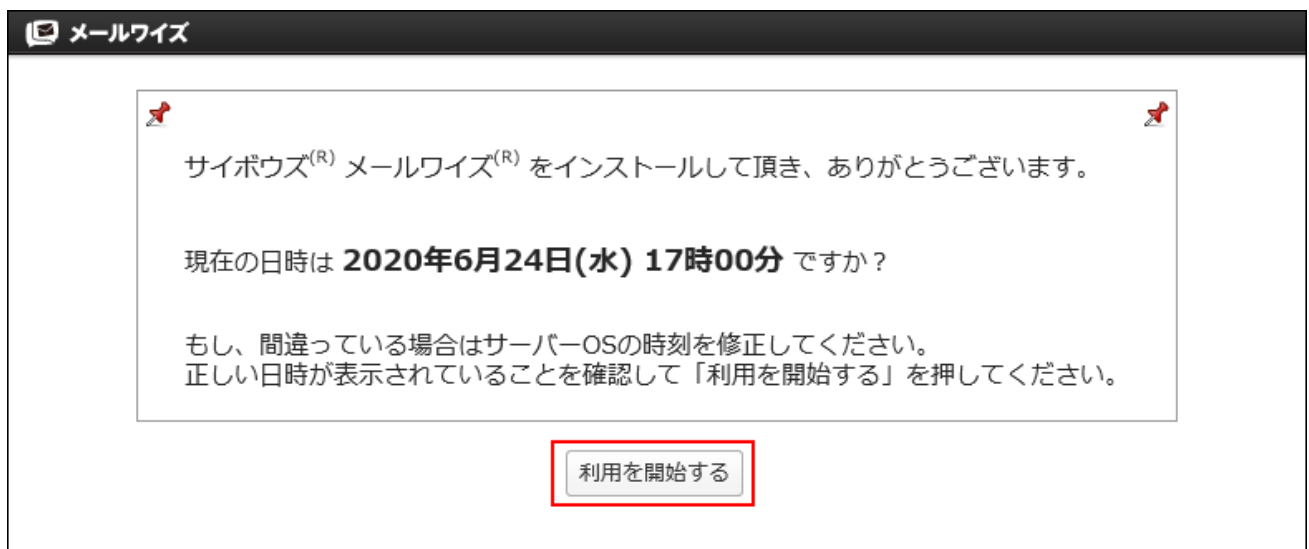
14. **完了** をクリックします。



15. **はい** をクリックします。



16. **利用を開始する** をクリックします。



メールワイズ 5のログイン画面とREADME.txtが表示されれば、インストールは正常に終了しています。

メールワイズ 5のログイン画面が表示されない場合は、[ログイン画面が表示されない\(65ページ\)](#)に掲載の対処方法で解決するかどうかを確認してください。

17. 名前のドロップダウンリストから「サンプルユーザー」を選択し、**ログイン**をクリックします。

サンプルユーザーには、パスワードが設定されていません。

空欄のままログインします。



18. 動作の確認や必要な設定をします。

サンプルユーザーとテストテンプレートがサンプルデータとして登録されています。データを参照したり機能を試したりするのに便利です。

ただし、サンプルデータにはメールサーバーが設定されていないため、メールの送受信はできません。

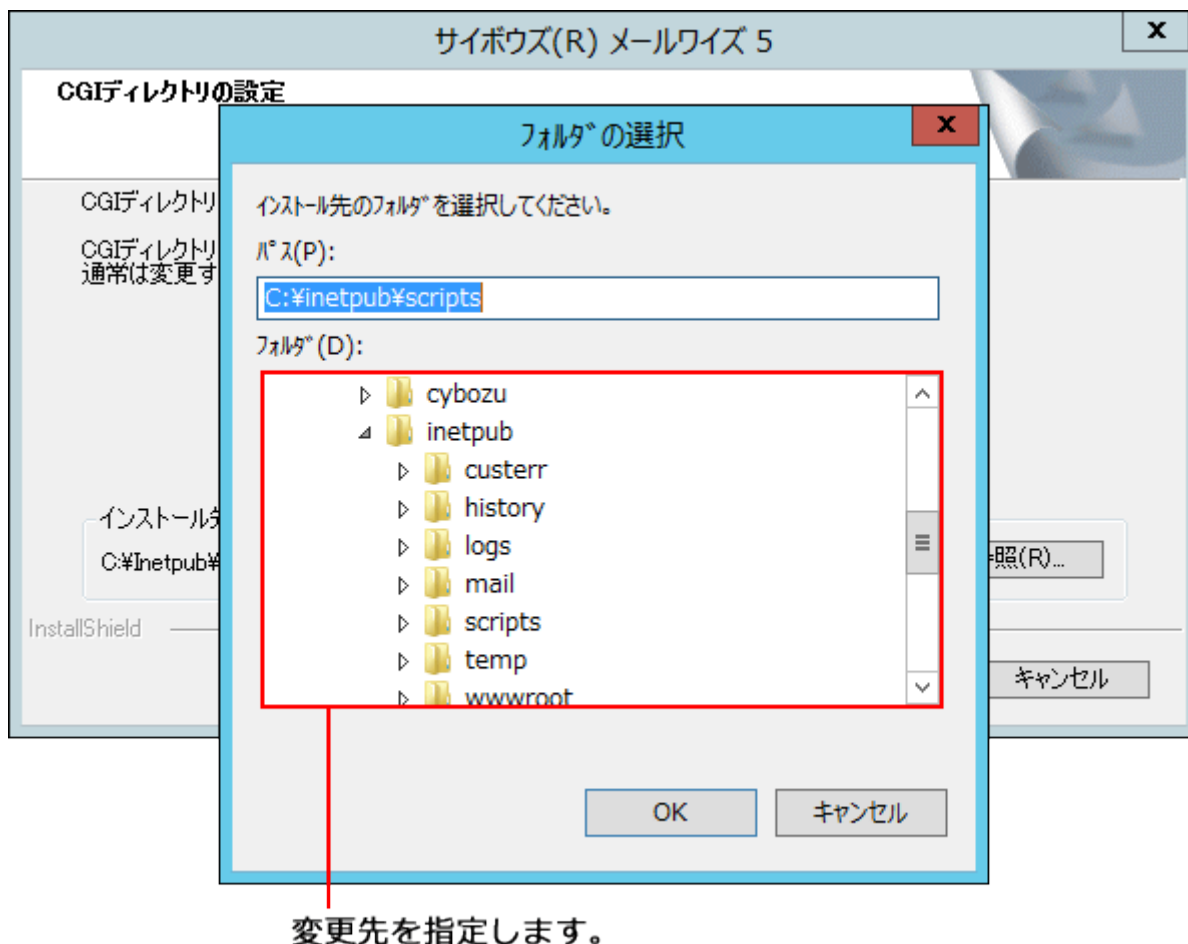
必要な設定についての詳細は、[インストール直後にシステム管理者が行うこと\(6ページ\)](#)を参照してください。

2.3. インストール時に困ったときは

メールワイズ 5のインストール操作で、困ったことを解決するヒントをまとめて紹介します。

インストール先のディレクトリを変更したい

CGIディレクトリ、データディレクトリ、またはドキュメントルートディレクトリを変更する場合は、各確認画面で **参照** をクリックして、変更先を指定します。



ログイン画面が表示されない

ログイン画面が表示されない場合は、Webブラウザを起動し、次のURLにアクセスします。

http:// (サーバーのIPアドレスまたはホスト名) /scripts/ (インストール識別子) /mw.exe?

- IPアドレスが「192.0.2.0」、インストール識別子が「cbmw」の場合のアクセスURLの例：
http://192.0.2.0/scripts/cbmw/mw.exe?

- ホスト名が「server.example.com」、インストール識別子が「cbmw」の場合のアクセスURLの例：

http://server.example.com/scripts/cbmw/mw.exe?

上記のURLにアクセスしても、メールワイズ5のログイン画面が表示されない場合は、次の項目を確認してください。

- アクセスURLに間違いがないこと：
サーバーのIPアドレス、サーバー名、ディレクトリ名、またはファイル名などが正しく入力されていることを確認します。
- CGIを実行できるディレクトリを指定していること
- 仮想ディレクトリが正しく設定されていること：
お使いの環境に合わせて、サポートガイドの[仮想ディレクトリーの作成方法](#)を参照してください。

2.4. サーバーやドライブの移行

移行元と移行先の製品が、ともにメールワイズ5である場合のサーバーやドライブの移行手順を説明します。

移行の前に確認すること

注意

- 弊社では、移行に伴うデータの紛失やトラブルに対する保証はいたしかねます。ご了承ください。
- FTPを使用する場合は、バイナリモードでデータを転送します。

- 指定されたデータのみ移行してください。誤って不要なデータを移行すると、正常に利用できなくなる恐れがあります。
- お客様で編集したテンプレートのhtmlファイルは移行しないでください。移行元と移行先のメールワイズのバージョンが異なると、正常に動作しない恐れがあります。

ライセンスや製品の試用について

■ ライセンス

サーバーやドライブを移行しても、新たにライセンスを購入する必要はありません。

移行するデータには、システム設定の情報やライセンスキーの情報が含まれています。このため、ライセンスキーを再度登録する必要はありません。

■ 製品の試用

サーバーを移行する前に、移行先のサーバーでメールワイズ 5を試用できます。

この場合、移行元と移行先のサーバーで、2つのメールワイズ 5を利用できます。

ただし、2つのメールワイズ 5で利用しているデータは、統合、同期、および連携できません。

ユーザー情報の連携について

次の条件を満たす場合、移行先のサーバーでも、サイボウズ製品とメールワイズ 5のユーザー情報の連携を引き継ぎます。

- サイボウズ製品とメールワイズ 5のサーバーを同時に移行する。
- 各製品のインストールディレクトリを同一にする。

連携するサイボウズ製品のインストールディレクトリが異なる場合は、事前にユーザー情報の連携を解除してください。

ユーザー情報の連携を解除した場合の影響については、よくあるご質問の[サイボウズ Officeとユーザー情報を連携していますが、ユーザー情報連携を解除した場合どうなりますか？](#)という記事を参照してください。

移行データ

移行元製品のデータディレクトリを、移行先製品のデータディレクトリに配置すると、データを移行できます。

データディレクトリが「C:\cybozu\mailwise\cbmw\」である場合を例に説明します。

・移行元でコピーするデータ：

- C:\cybozu\mailwise\cbmw\mw\data
- C:\cybozu\mailwise\cbmw\mw\file
- C:\cybozu\mailwise\cbmw\mw\back[ID]

・移行先でのデータの配置先：

C:\cybozu\mailwise\cbmw\mw\配下へコピーしたデータを配置します。

移行先にデータを上書きする場合

移行元でコピーしたデータディレクトリを移行先に配置する際に、移行先のデータを上書きする場合は、上書きコピーの作業によって、アクセス権が変更されることがあります。データファイルがアクセスできる状態になっていることを確認してください。

アクセスできない場合は、サポートガイドの[製品を利用するために必要なアクセス権の設定](#)を参照して解決するかどうか確認してください。

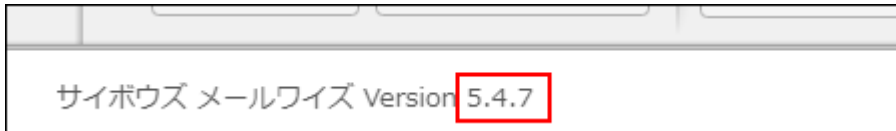
移行元と移行先の製品バージョンの確認

移行作業を実行する前に、製品のバージョンを確認します。

お使いの製品のバージョンは、画面のフッターで確認できます。

次の場合、製品のバージョンは「5.4.7」です。

- ・5：メジャーバージョンです。
- ・4：マイナーバージョンです。
- ・7：リビジョンです。



注意

- 移行元と移行先のバージョンが同じ場合のみ、サーバーまたはドライブの移行が可能です。

移行可能なバージョン

• 5.4.7から5.4.7への移行：

移行元と移行先のバージョンが同じであるため移行できます。

• 5.4.0から5.4.7への移行：

移行元のリビジョンが「0」、移行先のリビジョンが「7」で、移行元と移行先のバージョンが異なるため移行できません。

先に5.4.0同士でサーバーの移行を完了させてから、移行先で製品をバージョンアップしてください。

• 5.2.1から5.4.1への移行：

移行元のマイナーバージョンが「2」、移行先のマイナーバージョンが「4」で、移行元と移行先のバージョンが異なるため移行できません。

先に5.2.1同士でサーバーの移行を完了させてから、移行先で製品をバージョンアップしてください。

• 4.0.6から5.4.7への移行、または3.1（1.1）から5.4.7への移行：

メールワイズ 4以前のデータを、直接メールワイズ 5へは移行できません。

移行元の製品をメールワイズ 5にバージョンアップしてから、移行してください。

移行後のアクセスURLの確認

サーバーやドライブを移行する際に、サーバーのホスト名やIPアドレスが変わる場合は、移行後の製品のアクセスURLが変わります。

メールワイズ 5上にメールワイズ 5内のリンクを貼るなどの運用を行っている場合は、リンクが無効になります。あらかじめご了承ください。

ホスト名が「aaaaa」から「bbbbbb」に変わる場合を例に説明します。

• 移行前：

`http://aaaaa/scripts/cbmw/mw.exe`

• 移行後：

`http://bbbbbb/scripts/cbmw/mw.exe`

サーバーを移行する

お知らせ

- メールワイズ 5は、販売とサポートが終了します。
詳細は、製品サイトの[販売・サポート終了のお知らせ](#)を参照してください。

移行元と移行先の製品が、ともにメールワイズ 5である場合のサーバーの移行手順を説明します。

Steps:

- Step 1 [移行前の注意事項を確認します。](#)
- Step 2 [移行元の環境で、メールワイズ 5が動作しているディレクトリを確認します。](#)
- Step 3 [メールの自動受信を停止します。](#)
- Step 4 [メンテナンスモードを設定します。](#)
- Step 5 [移行するデータをバックアップします。](#)
- Step 6 [移行元と同じバージョンのメールワイズ 5を移行先のサーバーにインストールします。](#)
- Step 7 [移行先のディレクトリをリネーム、または削除します。](#)
- Step 8 [Step5のバックアップデータをコピーします。](#)
- Step 9 [Step8でコピーした移行元のバックアップデータを、移行先に配置します。](#)
- Step 10 [メンテナンスモードを解除します。](#)
- Step 11 [メールワイズ 5の動作を確認します。](#)

Step 12 [メール通知の設定を確認します。](#)

Step 13 [移行元のメールワイズ 5をアンインストールします。](#)

Step 1 移行前の注意事項を確認します。

注意事項の詳細は、[移行の前に確認すること\(66ページ\)](#)を参照してください。

Step 2 **移行元での作業** 移行元的环境中で、メールワイズ 5が動作しているディレクトリを確認します。

確認するディレクトリは、次のとおりです。

- インストールディレクトリ
- データディレクトリ
- ドキュメントルートディレクトリ

メールワイズ 5が動作している環境を確認する手順は、[サーバー環境の確認](#)を参照してください。

Step 3 **移行元での作業** メールの自動受信を停止します。

停止方法の詳細は、[自動受信の設定](#)を参照してください。

Step 4 **移行元での作業** メンテナンスモードを設定します。

設定方法の詳細は、[メンテナンスモードの設定](#)を参照してください。

Step 5

移行元での作業 移行するデータをバックアップします。

バックアップするデータは、次のとおりです。

- (データディレクトリ) /mw/data
- (データディレクトリ) /mw/file
- (データディレクトリ) /mw/back[ID]

バックアップ手順の詳細は、[バックアップ](#)を参照してください。

Step 6

移行先での作業 移行元と同じバージョンのメールワイズ 5を移行先のサーバーにインストールします。

移行元と移行先で製品バージョンが異なる場合は移行できません。

バージョンアップとサーバー移行を同時に実施する場合は、サーバーの移行が完了してから、移行先で製品をバージョンアップします。

バージョンの確認方法の詳細は、[移行元と移行先の製品バージョンの確認\(68ページ\)](#)を参照してください。

旧バージョンのメールワイズ 5のインストーラーは、よくあるご質問の[【製品ダウンロード】メールワイズ 5 \(パッケージ版\) 旧バージョン一覧](#)という記事からダウンロードできます。

メールワイズ 5をインストールする手順は、[Windows版のインストール\(52ページ\)](#)を参照してください。

**Step
7****移行先での作業** 移行先のディレクトリをリネーム、または削除します。

リネームの例：

(データディレクトリ) /mw/data → (データディレクトリ) /mw/data_bak

(データディレクトリ) /mw/file → (データディレクトリ) /mw/file_bak

**Step
8****移行元での作業** Step5のバックアップデータをコピーします。**Step
9****移行先での作業** Step8でコピーした移行元のバックアップデータを、移行先に配置します。

(データディレクトリ) /mw配下に配置します。

バックアップデータ「data」 → (データディレクトリ) /mw/dataとして配置

バックアップデータ「file」 → (データディレクトリ) /mw/fileとして配置

バックアップデータ「back[ID]」 → (データディレクトリ) /mw/back[ID]として配置

移行時にデータを上書きすると、移行先のアクセス権が変更されることがあります。

詳細は、[移行先にデータを上書きする場合\(68ページ\)](#)を参照してください。**Step
10****移行先での作業** メンテナンスモードを解除します。解除方法の詳細は、[メンテナンスモードの解除](#)を参照してください。**Step
11****移行先での作業** メールワイズ 5の動作を確認します。

Webブラウザを起動してメールワイズ 5にアクセスし、次の項目を確認します。

- 正常に動作する。
- 移行元のデータを、正常に閲覧したり表示したりできる。

Step 12

移行先での作業 メール通知の設定を確認します。

メール通知を有効にしている場合、メール通知の設定で使用している「メールワイズのURL」を移行先のメールワイズのURLに変更します。

変更方法の詳細は、[メール通知の設定](#)を参照してください。

Step 13

移行元での作業 移行元のメールワイズ 5をアンインストールします。

アンインストールする手順は、[Windows版のアンインストール\(97ページ\)](#)を参照してください。

ドライブを移行する

お知らせ

- メールワイズ 5は、販売とサポートが終了します。
詳細は、製品サイトの[販売・サポート終了のお知らせ](#)を参照してください。

移行元と移行先の製品が、ともにメールワイズ 5である場合のドライブの移行手順を説明します。

注意

- 単純にメールワイズ 5のデータを、別のドライブに移動しただけでは、データを移行したことになりません。データを移行する場合は、再インストールを実施し、移行先のディレクトリを指定する必要があります。
- 移行先のドライブでホームディレクトリを変更する場合は、Webサーバー側でも、ホームディレクトリを設定を変更する必要があります。

Steps:

- Step 1 移行前の注意事項を確認します。
- Step 2 運用中の環境で、メールワイズ 5が動作しているディレクトリを確認します。
- Step 3 メールの自動受信を停止します。
- Step 4 メンテナンスモードを設定します。
- Step 5 移行するデータをバックアップします。
- Step 6 運用中のメールワイズ 5をアンインストールします。
- Step 7 移行先のディレクトリを指定して、移行前と同じバージョンのメールワイズ 5をインストールします。
- Step 8 仮想ディレクトリを設定します。
- Step 9 メールワイズ 5の動作を確認します。
- Step 10 移行先のディレクトリをリネーム、または削除します。
- Step 11 Step5のバックアップデータをコピーします。
- Step 12 Step11でコピーしたバックアップデータを、移行先のドライブに配置します。
- Step 13 メンテナンスモードを解除します。
- Step 14 メールワイズ 5の動作を確認します。

Step 1

移行前の注意事項を確認します。

注意事項の詳細は、[移行の前に確認すること\(66ページ\)](#)を参照してください。

Step 2

運用中の環境で、メールワイズ 5が動作しているディレクトリを確認します。

確認するディレクトリは、次のとおりです。

- インストールディレクトリ
- データディレクトリ
- ドキュメントルートディレクトリ

メールワイズ 5が動作している環境を確認する手順は、[サーバー環境の確認](#)を参照してください。

Step 3

メールの自動受信を停止します。

停止方法の詳細は、[自動受信の設定](#)を参照してください。

Step 4

メンテナンスモードを設定します。

設定方法の詳細は、[メンテナンスモードの設定](#)を参照してください。

Step 5

移行するデータをバックアップします。

バックアップするデータは、次のとおりです。

- (データディレクトリ) /mw/data
- (データディレクトリ) /mw/file
- (データディレクトリ) /mw/back[ID]

バックアップ手順の詳細は、[バックアップ](#)を参照してください。

Step 6

運用中のメールワイズ 5をアンインストールします。

アンインストールする手順は、[Windows版のアンインストール\(97ページ\)](#)を参照してください。

Step 7

移行先のディレクトリを指定して、移行前と同じバージョンのメールワイズ 5をインストールします。

移行前と異なるバージョンのメールワイズ 5をインストールすると、データを移行できません。

バージョンアップとデータの移行を同時に実施する場合は、先に同じバージョンでデータを移行したあと、移行先で製品をバージョンアップします。

バージョンの確認方法の詳細は、[移行元と移行先の製品バージョンの確認\(68ページ\)](#)を参照してください。

旧バージョンのメールワイズ 5のインストーラーは、よくあるご質問の[【製品ダウンロード】メールワイズ 5 \(パッケージ版\) 旧バージョン一覧](#)という記事からダウンロードできます。

メールワイズ 5をインストールする手順は、[Windows版のインストール\(52ページ\)](#)を参照してください。

Step 8

仮想ディレクトリを設定します。

移行先のドライブに仮想ディレクトリを設定します。

仮想ディレクトリについての詳細は、[Windowsの仮想ディレクトリーについて](#)を参照してください。

Step 9

メールワイズ 5の動作を確認します。

Webブラウザを起動してメールワイズ 5にアクセスし、正常に動作することを確認します。

Step 10

移行先のディレクトリをリネーム、または削除します。

リネームの例：

(データディレクトリ) /mw/data → (データディレクトリ) /mw/data_bak

(データディレクトリ) /mw/file → (データディレクトリ) /mw/file_bak

Step 11

Step5のバックアップデータをコピーします。

Step 12

Step11でコピーしたバックアップデータを、移行先のドライブに配置します。

(データディレクトリ) /mw配下に配置します。

バックアップデータ「data」 → (データディレクトリ) /mw/dataとして配置

バックアップデータ「file」 → (データディレクトリ) /mw/fileとして配置

バックアップデータ「back[ID]」 → (データディレクトリ) /mw/back[ID]として配置

移行時にデータを上書きすると、移行先のアクセス権が変更されることがあります。
詳細は、[移行先にデータを上書きする場合\(68ページ\)](#)を参照してください。

**Step
13****メンテナンスモードを解除します。**

解除方法の詳細は、[メンテナンスモードの解除](#)を参照してください。

**Step
14****メールワイズ 5の動作を確認します。**

Webブラウザを起動してメールワイズ 5にアクセスし、次の項目を確認します。

- 正常に動作する。
- 移行元のデータを、正常に閲覧したり表示したりできる。

3章 バージョンアップ

お使いのメールワイズを、メールワイズ 5にバージョンアップする手順を説明します。
現在お使いの製品によって、バージョンアップの手順が異なります。

関連ページ

- [Windows版のバージョンアップ\(80ページ\)](#)
 - [接続先のサイボウズ製品をバージョンアップした場合、リモートサービスはそのまま利用できますか？](#)
-

3.1. Windows版のバージョンアップ

お知らせ

- メールワイズ 5は、販売とサポートが終了します。
詳細は、製品サイトの[販売・サポート終了のお知らせ](#)を参照してください。

Windows環境で運用している製品をメールワイズ 5にバージョンアップする手順を説明します。

i 関連ページ

- [バージョンアップの前に確認すること\(81ページ\)](#)
- [お使いのメールワイズ 5を最新版にする\(85ページ\)](#)
- [メールワイズ 3やメールワイズ 4をメールワイズ 5にする\(90ページ\)](#)

3.1.1. バージョンアップの前に確認すること

バージョンアップ作業の前に確認する項目について説明します。

動作環境やサーバーの設定

メールワイズ 5にバージョンアップする前に、次の項目を確認します。

項目	説明
ユーザーの権限	バージョンアップする際に、ローカルのAdministrator権限を持つユーザーで、サーバーにログインする必要があります。
サーバーやネットワークの環境	お使いのサーバーやネットワーク環境が、製品サイトに掲載されている 動作環境 と合っていることを確認します。
サーバーの設定日時	サーバーの設定日時が、正しいかどうかを確認します。日時が正しく設定されていないと、正常に動作しない恐れがあります。

項目	説明
常駐アプリケーションやプロセス	<p>サーバーで、アプリケーションのプロセスやWindowsプログラムが終了していることを確認します。</p> <p>セキュリティやバックアップなどの常駐アプリケーションやプロセスが動いていると、影響を受けてしまう可能性があるため、停止した状態で実施することを推奨しています。</p>

データコンバートについて

旧バージョンからメールワイズ 5にバージョンアップすると、旧バージョンで使用していたデータがメールワイズ 5用にコンバートされます。コンバート対象のデータ量やサーバーのスペックによって、処理に時間がかかる場合があります。

■ データコンバートの時間の目安

次のような条件の場合、コンバートにかかる時間は1時間程度です。

環境	概要
マシンスペック	<ul style="list-style-type: none"> • CPU: Intel Xeon(R) プロセッサー E5640 2.67GHz • メモリ: 2GB • サーバーOS: Windows Server 2003
登録データ	<ul style="list-style-type: none"> • メールデータ: <ul style="list-style-type: none"> 5アプリケーション分のメールデータ: 約250,000件 (1メールアプリケーションあたり: 約50,000件) • 電話履歴: <ul style="list-style-type: none"> 履歴データ: 約96,000件

環境	概要
	<ul style="list-style-type: none"> • アドレス帳データ： <ul style="list-style-type: none"> 会社データ：約50,000件 顧客データ：約50,000件 • 退避データ： <ul style="list-style-type: none"> 上記と同レベルのデータ量の退避データを2つ
データ容量 (dataとfileとback[ID]配下のデータの総サイズ)	約49.3GB

ドライブの空き容量

旧バージョンからメールワイズ 5にバージョンアップすると、旧バージョンで使用していたデータがメールワイズ 5用にコンバートされます。

コンバート実行時には、旧バージョンのメールワイズのデータが次のディレクトリに自動的にバックアップされます。

- (データディレクトリ) /odbbackup[インストール日時]

データコンバートには、少なくとも、次のデータを合わせたデータサイズ分の空き容量が必要です。

- メールワイズ 3またはメールワイズ 4からバージョンアップする場合：
 - (CGIディレクトリ) /mw/data の半分+100MB
 - (CGIディレクトリ) mw/back[数字]/data

補足

- back[数字]ディレクトリは、[過去データの退避](#)を実施している場合にのみ存在します。空き容量を確認する際は、すべてのback[数字]/dataディレクトリを確認してください。

- バージョンアップが正常に完了したことを確認したあと、バックアップデータの odbbackup[インストール日時]ディレクトリを削除してください。
-

バージョンアップ時の注意点

- 万が一のトラブルに備え、バージョンアップ前のデータを [バックアップ](#) してください。
- バージョンアップの処理に時間がかかる場合があります。
- バージョンアップ時にはメンテナンスモードを設定するため、すべてのユーザーがメールワイズにアクセスできなくなります。作業は、業務に支障がない時間帯に行ってください。

メールワイズ 5のライセンスキーの準備

メールワイズ 3以前からメールワイズ 5にバージョンアップした場合、ライセンス状態が試用版になります。

バージョンアップが完了したあと、改めてライセンスを登録する必要があります。

リモートサービスを使用している場合

リモートサービスを経由してメールワイズに接続している場合、メールワイズ 5にバージョンアップしたあと、リモートサービスマネージャーで製品情報の更新や利用製品を更新する必要があります。

詳細は、よくあるご質問の [接続先のサイボウズ製品をバージョンアップした場合、リモートサービスはそのまま利用できますか？](#) という記事を参照してください。

3.1.2. お使いのメールワイズ 5を最新版にする

お使いのメールワイズ 5を最新版にバージョンアップします。

操作手順：

1. バージョンアップする環境を確認します。

詳細は、[バージョンアップの前に確認すること\(81ページ\)](#)を参照してください。

2. お使いのメールワイズ 5で次の情報を確認します。

- インストール識別子
- CGIディレクトリ
- データディレクトリ
- ドキュメントルートディレクトリ

「実行環境の診断」画面の「DocumentRoot」欄、「Dir」欄、および「UserDir」欄で確認できます。

「実行環境の診断」画面の見かたは、[サーバー環境の確認](#)を参照してください。

3. メールワイズ 5にメンテナンスモードを設定します。

一時的にすべてのユーザーがメールワイズ 5にアクセスできなくなります。

設定方法の詳細は、[メンテナンスモードの設定](#)を参照してください。

4. バージョンアップ前のメールワイズ 5のデータをバックアップします。

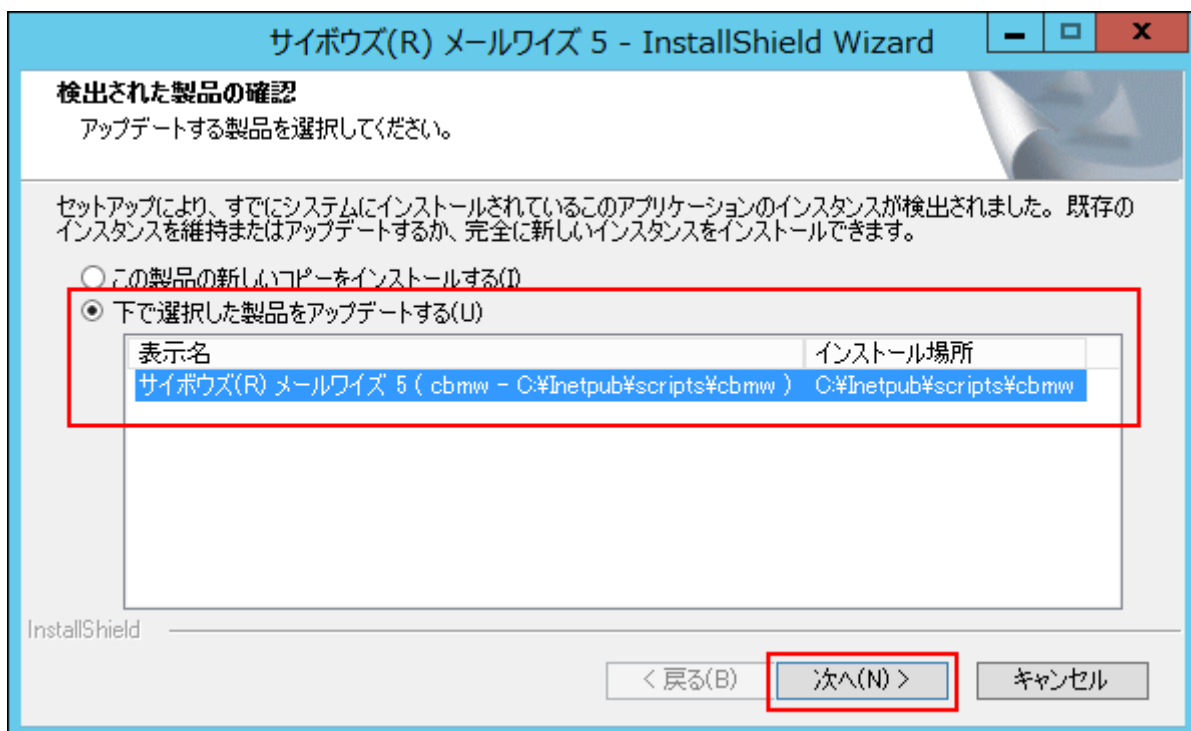
必ず次のデータをコピーし、外部媒体などに保存します。

- (データディレクトリ) /mw/data
- (データディレクトリ) /mw/file
- (データディレクトリ) /mw/back[ID]

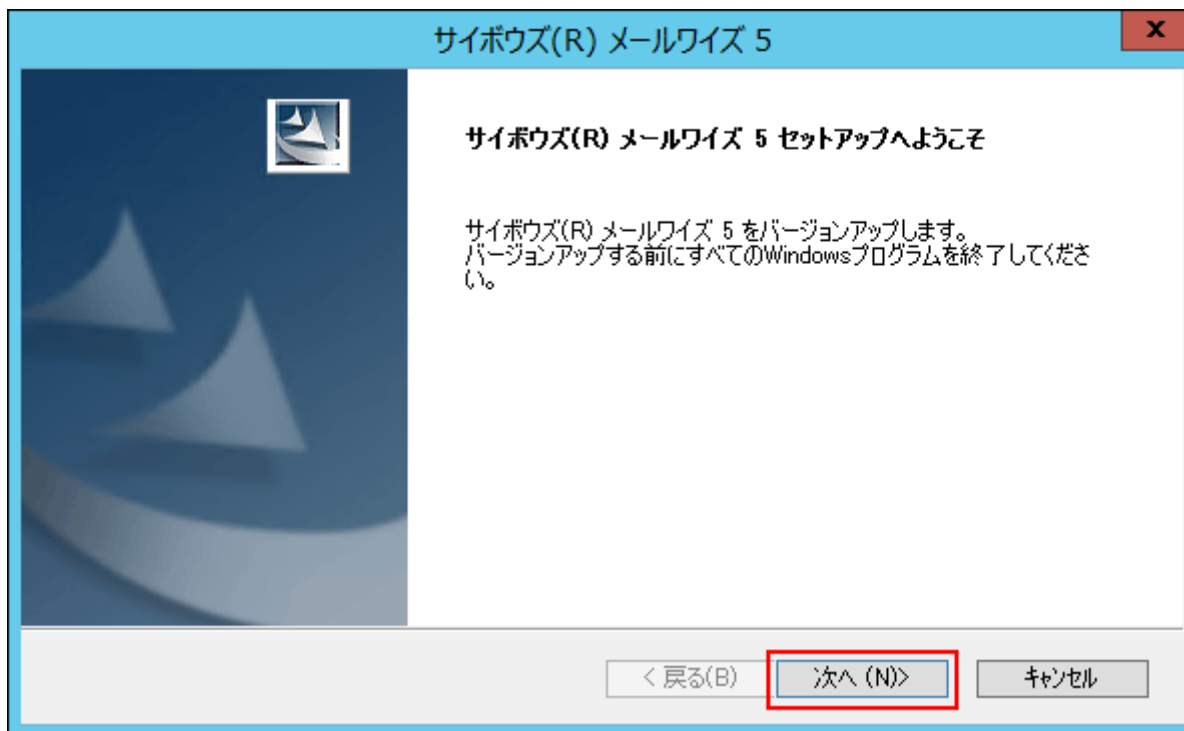
5. 最新のインストーラーを入手します。

インストーラーは、製品サイトの[パッケージ版ダウンロード](#)のページからダウンロードしてください。

6. サーバーにダウンロードしたインストーラー「cbmw-5.x.x-windows.exe」を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。
インストーラーが起動します。
7. 「下で選択した製品をアップデートする」を選択し、バージョンアップする製品を選択して、**次へ** をクリックします。



8. **次へ** をクリックします。



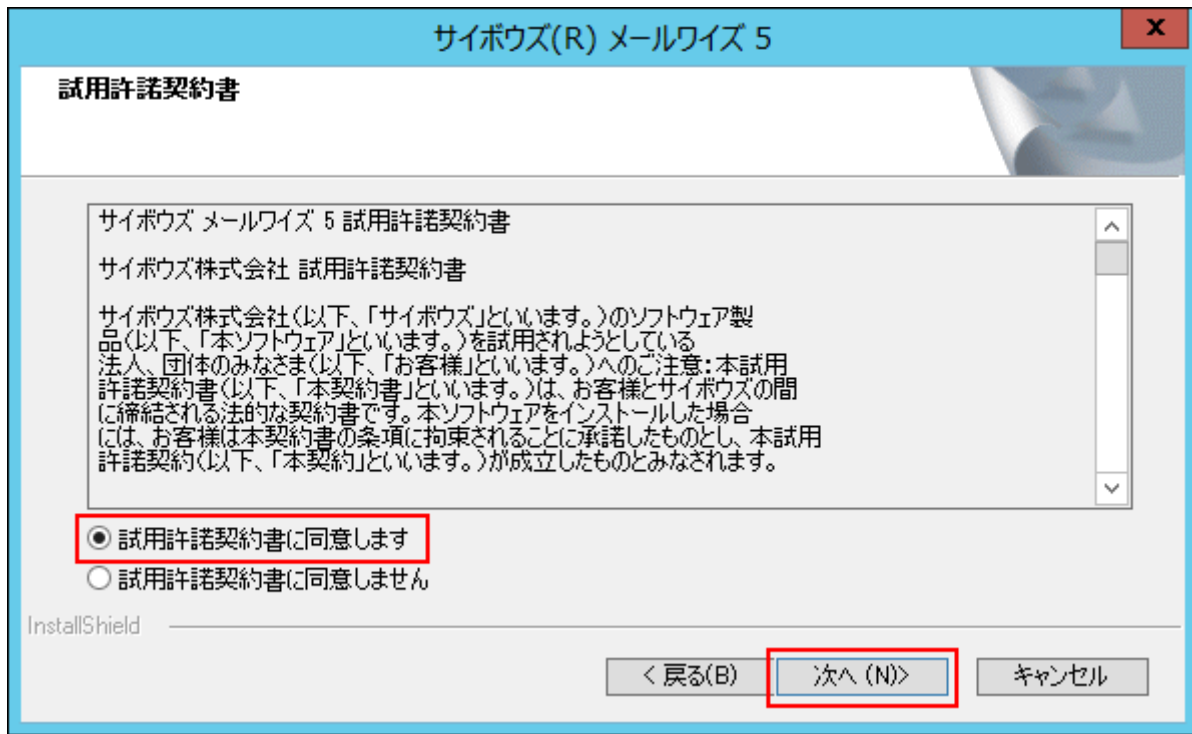
9. 試用許諾契約書を確認し、同意する場合は「試用許諾契約書に同意します」を選択して、**次へ** をクリックします。

- 試用許諾契約書に同意しない場合：

キャンセル をクリックし、インストールを中止します。

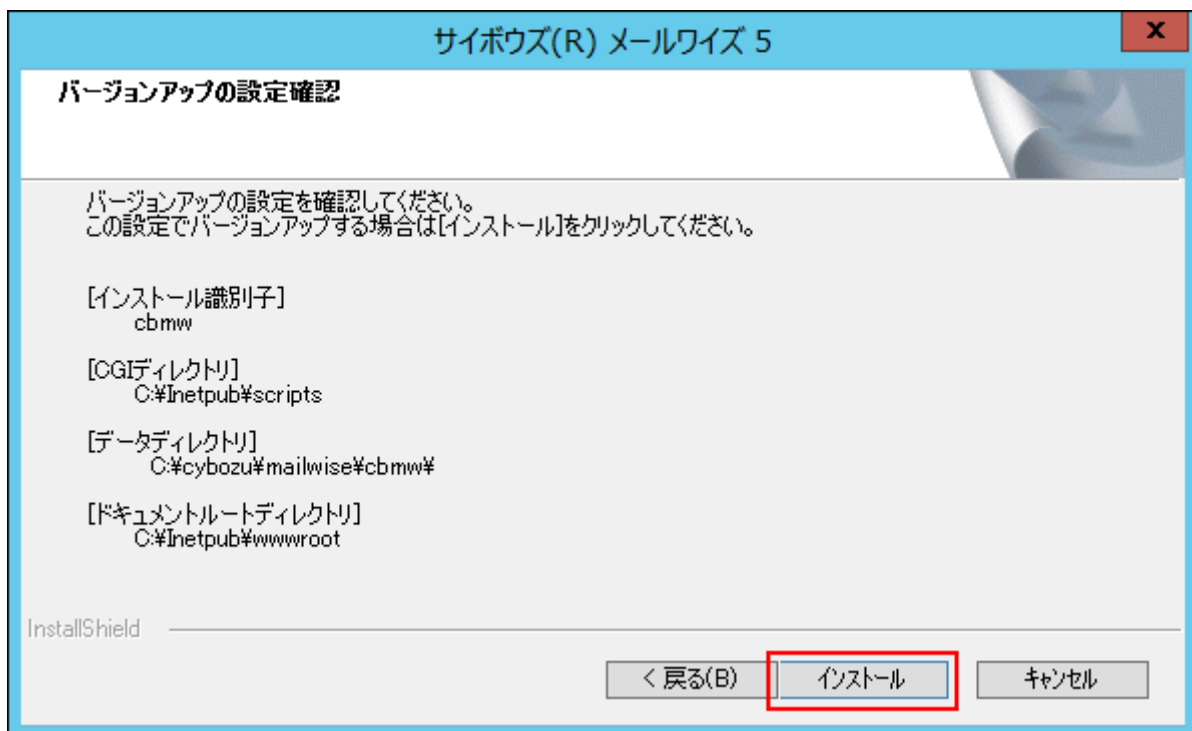
- 1つ前の手順に戻る場合：

戻る をクリックします。

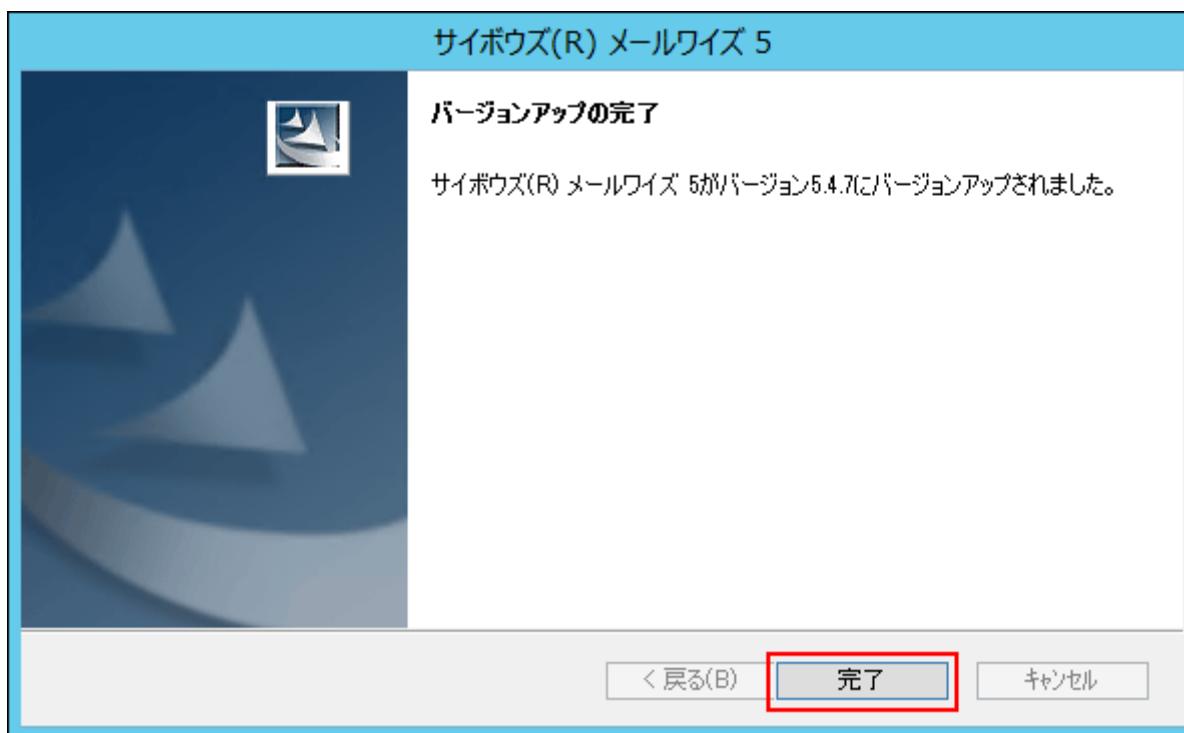


10. バージョンアップの設定を確認し、**インストール** をクリックします。

バージョンアップが始まります。



11. **完了** をクリックします。



12. **メンテナンスモードを解除します。**

(データディレクトリ) /mw/data/配下にあるmaintファイルを削除して、メンテナンス時間を解除します。

解除方法の詳細は、[メンテナンスモードの解除](#)を参照してください。

13. **メールワイズ 5にログインし、動作を確認します。**

次のことを確認します。

- 正常に動作する。
- バージョンアップ前のデータを、正常に閲覧または表示できる。
- ログイン画面下部のバージョン番号が、最新のバージョンになっている。

3.1.3. メールワイズ 3やメールワイズ 4をメールワイズ 5にする

メールワイズ 3またはメールワイズ 4をメールワイズ 5にバージョンアップします。

操作手順：

1. バージョンアップする環境を確認します。

詳細は、[バージョンアップの前に確認すること\(81ページ\)](#)を参照してください。

2. お使いのメールワイズで次の情報を確認します。

- インストール識別子
- CGIディレクトリ
- ドキュメントルートディレクトリ

「実行環境の診断」画面の「DocumentRoot」欄と「Dir欄」で確認できます。

3. メールワイズにメンテナンスモードを設定します。

一時的にすべてのユーザーがメールワイズにアクセスできなくなります。

4. バージョンアップ前のメールワイズのデータをバックアップします。

必ず次のデータをコピーし、外部媒体などに保存します。

- (インストールディレクトリ) /mw/data
- (インストールディレクトリ) /mw/file
- (インストールディレクトリ) /mw/back[ID]

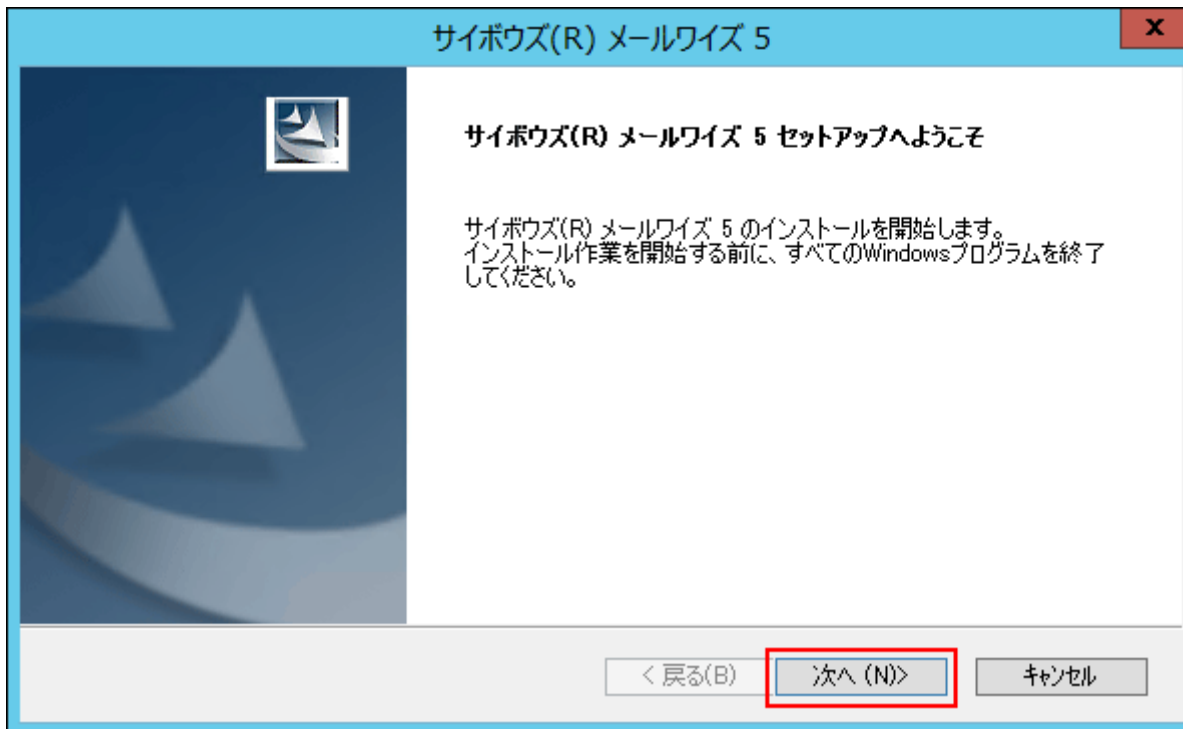
5. 最新のインストーラーを入手します。

インストーラーは、製品サイトの[パッケージ版ダウンロード](#)のページからダウンロードしてください。

6. サーバーにダウンロードしたインストーラー「cbmw-5.x.x-windows.exe」を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。

インストーラーが起動します。

7. **次へ** をクリックします。



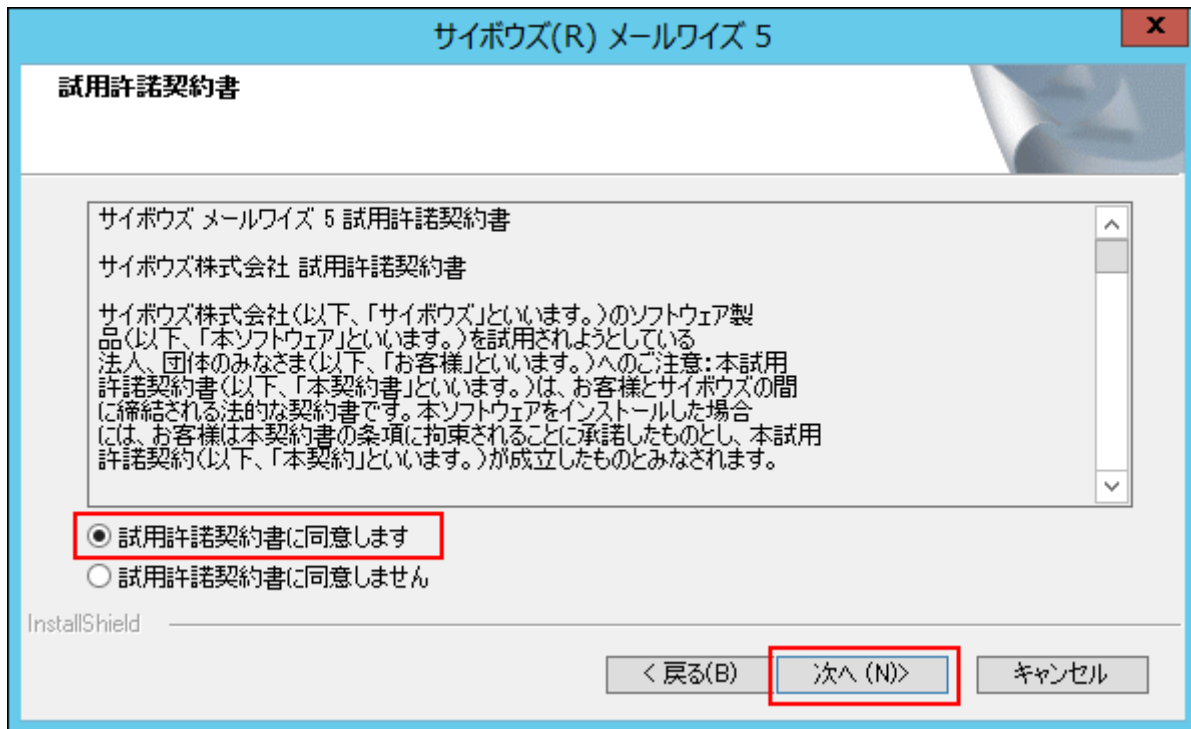
8. 試用許諾契約書を確認し、同意する場合は「試用許諾契約書に同意します」を選択して、**次へ** をクリックします。

- 試用許諾契約書に同意しない場合：

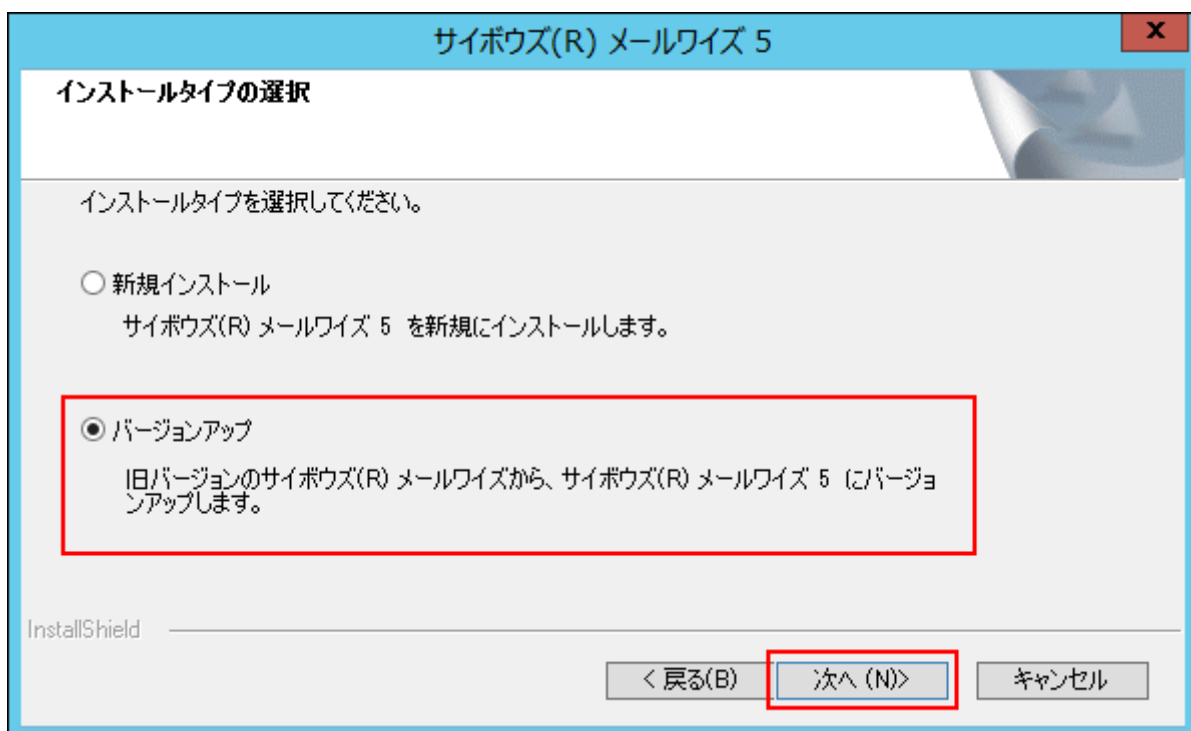
キャンセル をクリックし、インストールを中止します。

- 1つ前の手順に戻る場合：

戻る をクリックします。

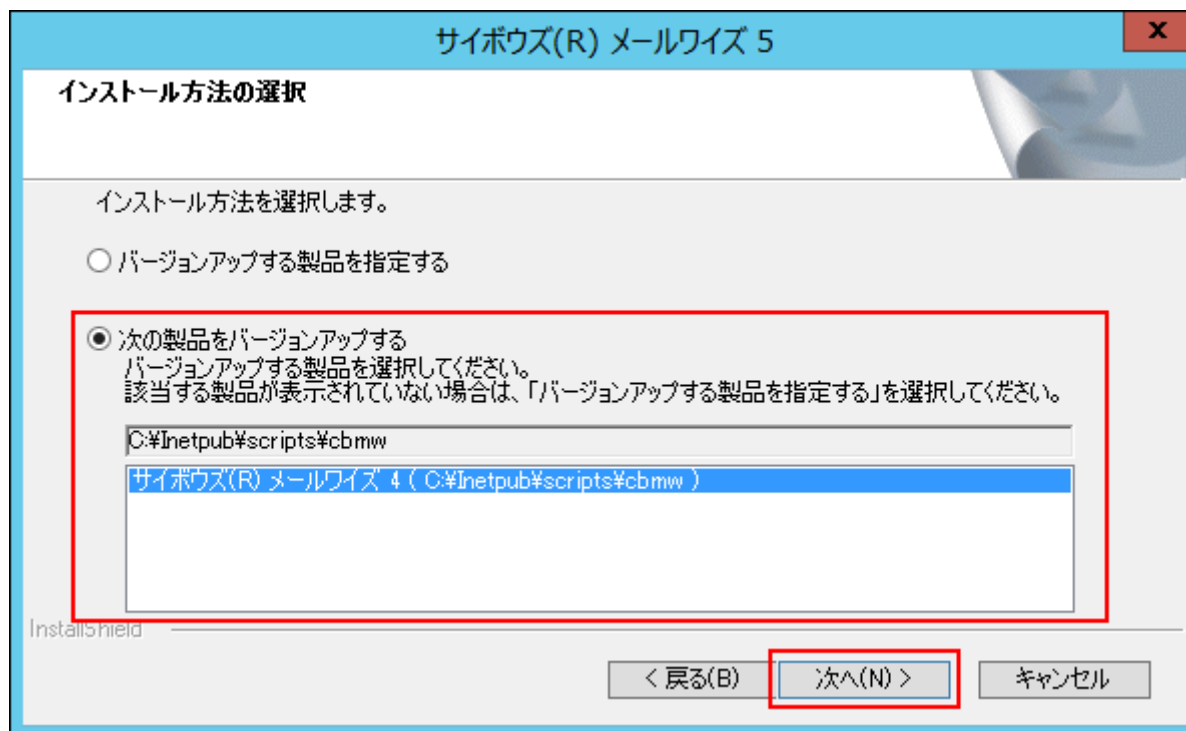


9. 「バージョンアップ」を選択し、**次へ** をクリックします。



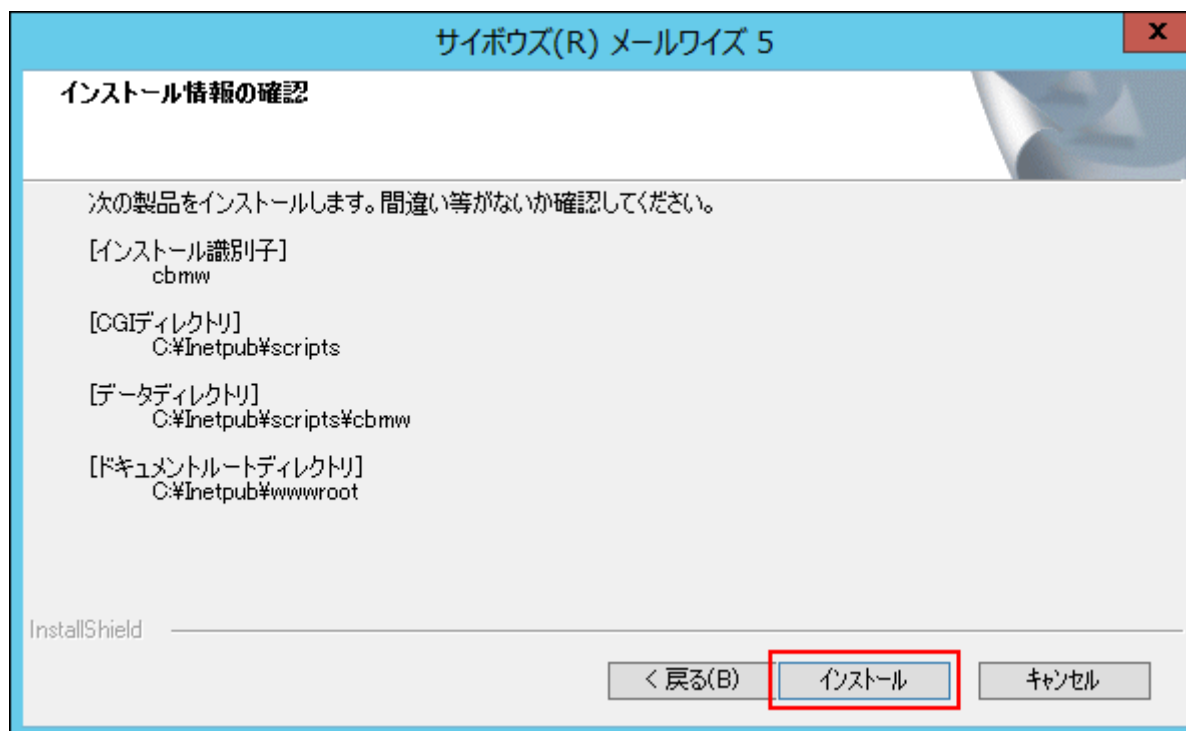
10. 「次の製品をバージョンアップする」を選択し、バージョンアップする製品を選択して、**次へ** をクリックします。

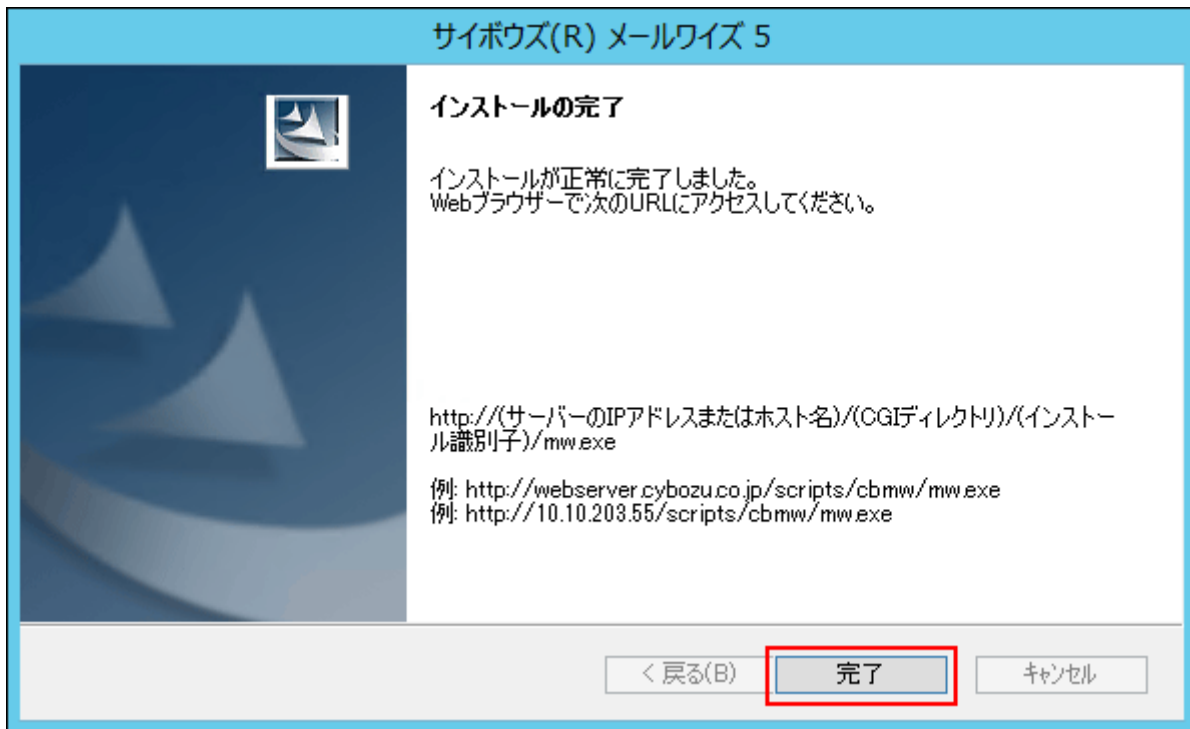
該当する製品が表示されない場合は、「バージョンアップする製品を指定する」を選択し、インストール識別子、CGIディレクトリを指定します。



11. 設定を確認し、インストールをクリックします。

データコンバートのあと、バージョンアップが始まります。



12. 完了 をクリックします。**13. メンテナンスモードを解除します。**

(データディレクトリ) /mw/data/配下にあるmaintファイルを削除して、メンテナンス時間を解除します。

解除方法の詳細は、[メンテナンスモードの解除](#)を参照してください。

14. Webブラウザを起動し、メールワイズ 5にアクセスして、利用を開始する をクリックします。

メールワイズ 5のログイン画面が表示されれば、バージョンアップは正常に終了しています。

メールワイズ 5のログイン画面が表示されない場合は、[ログイン画面が表示されない\(65ページ\)](#)に掲載の対処方法で解決するかどうかを確認してください。

15. メールワイズ 5にログインし、動作を確認します。

次のことを確認します。

- 正常に動作する。

- バージョンアップ前のデータを、正常に閲覧または表示できる。
- ログイン画面下部のバージョン番号が、最新のバージョンになっている。

16. メールワイズ 3をバージョンアップした場合は、ライセンスを登録します。

メールワイズ 3をメールワイズ 5にバージョンアップした場合、ライセンス状態が試用版になります。改めてライセンスを登録する必要があります。

メールワイズ 4をメールワイズ 5にバージョンアップした場合、ライセンス情報が引き継がれるため、この操作は不要です。

ライセンスの登録方法は、[ライセンスの登録](#)を参照してください。

3.1.4. メールワイズ 2以前をメールワイズ 5にする

メールワイズ 1またはメールワイズ 2をメールワイズ 5にバージョンアップするには、一度メールワイズ 3にバージョンアップしてから、メールワイズ 5にバージョンアップする必要があります。

Steps:

- Step 1 [バージョンアップする前に、メールワイズ 5のライセンスキーを準備します。](#)
- Step 2 [メールワイズ 2以前の製品を、メールワイズ 3にバージョンアップします。](#)
- Step 3 [メールワイズ 3をメールワイズ 5にバージョンアップします。](#)
- Step 4 [メールワイズ 5のライセンスを登録します。](#)

Step 1

バージョンアップする前に、メールワイズ 5のライセンスキーを準備します。

詳細は、[メールワイズ 5のライセンスキーの準備\(84ページ\)](#)を参照してください。

**Step
2**

メールワイズ 2以前の製品を、メールワイズ 3にバージョンアップします。

**Step
3**

メールワイズ 3をメールワイズ 5にバージョンアップします。

詳細は、[メールワイズ 3やメールワイズ 4をメールワイズ 5にする\(90ページ\)](#)方法を参照してください。

**Step
4**

メールワイズ 5のライセンスを登録します。

詳細は、[ライセンスの登録](#)を参照してください。

4章 アンインストール

メールワイズ 5をアンインストールする手順を説明します。

先にメールワイズ 5のアプリケーションを削除し、あとでデータを削除します。

関連ページ

- [インストール\(50ページ\)](#)
 - [バージョンアップ\(80ページ\)](#)
-

4.1. Windows版のアンインストール

Windows環境でメールワイズ 5をアンインストールする手順を説明します。

先にメールワイズ 5のアプリケーションを削除し、あとでデータを削除します。

注意

- 削除したデータは元に戻せません。アンインストールする前にデータを[バックアップ](#)しておくことを推奨します。
- アンインストールは、インストール先のサーバーのAdministrator権限を持つユーザーで行います。
- 次のすべての条件に該当する場合は、メールワイズ 5をアンインストールしたあと、運用に応じてApacheをアンインストールしてください。手順は、[Apacheをアンインストールする\(101ページ\)](#)方法を参照してください。
 - メールワイズ 5のインストール時に同梱のApacheをインストールした。
 - メールワイズ 5以外でApacheを利用していない。

アプリケーションを削除する

メールワイズ 5の実行ファイルなど、アプリケーションを削除します。

操作手順：

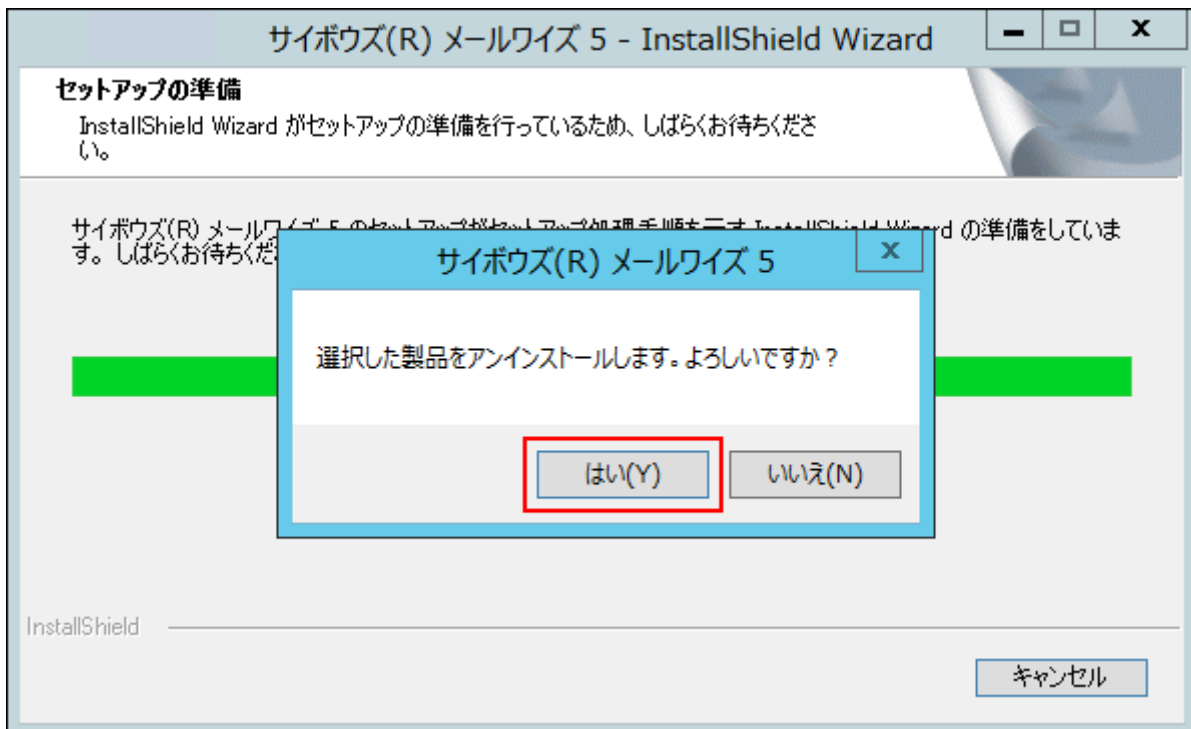
1. Windowsのスタートメニューから、コントロールパネルを開きます。
2. すべてのコントロールパネル項目から、「プログラムと機能」を開きます。
3. アンインストールするメールワイズ 5を右クリックし、「アンインストールと変更」をクリックします。

複数の製品をインストールしている場合は、アンインストールするメールワイズ 5を選択します。

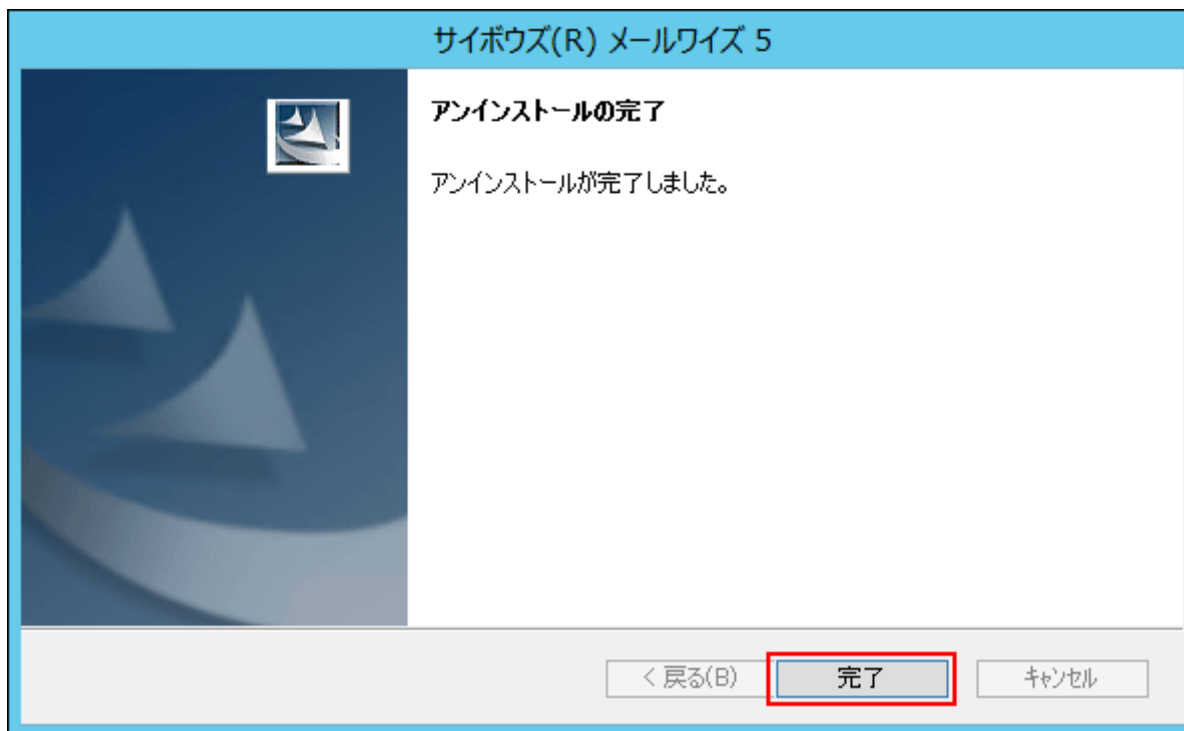


4. 確認画面で **はい** をクリックし、アンインストールを開始します。

アンインストールを中止する場合は、**いいえ** をクリックします。



5. **完了** をクリックします。



続いて、メールワイズ 5のデータを削除します。

データを削除する

アプリケーションを削除したあと、不要になった次のディレクトリ配下のフォルダとファイルを手動で削除します。各ディレクトリの詳細については、[ファイル構成](#)を参照してください。

- CGIディレクトリ
- データディレクトリ
- ドキュメントルートディレクトリにある、バージョン固有のディレクトリ配下のすべてのフォルダとファイル：
バージョン 5.4.7の場合のフォルダ名は「cbmw540」です。お使いのバージョンによって異なります。

不要なデータの削除が完了すると、メールワイズ 5のアンインストール作業は終了です。

注意

• 複数のメールワイズ 5を1つのサーバーにインストールしている場合

特定のメールワイズ 5をアンインストールする場合は、メールワイズ 5の次の2つのディレクトリ配下のフォルダとファイルのみ削除します。

- CGIディレクトリ
- データディレクトリ

ドキュメントルートディレクトリを削除してしまうと、お使いの製品の画面が正しく表示されなくなります。

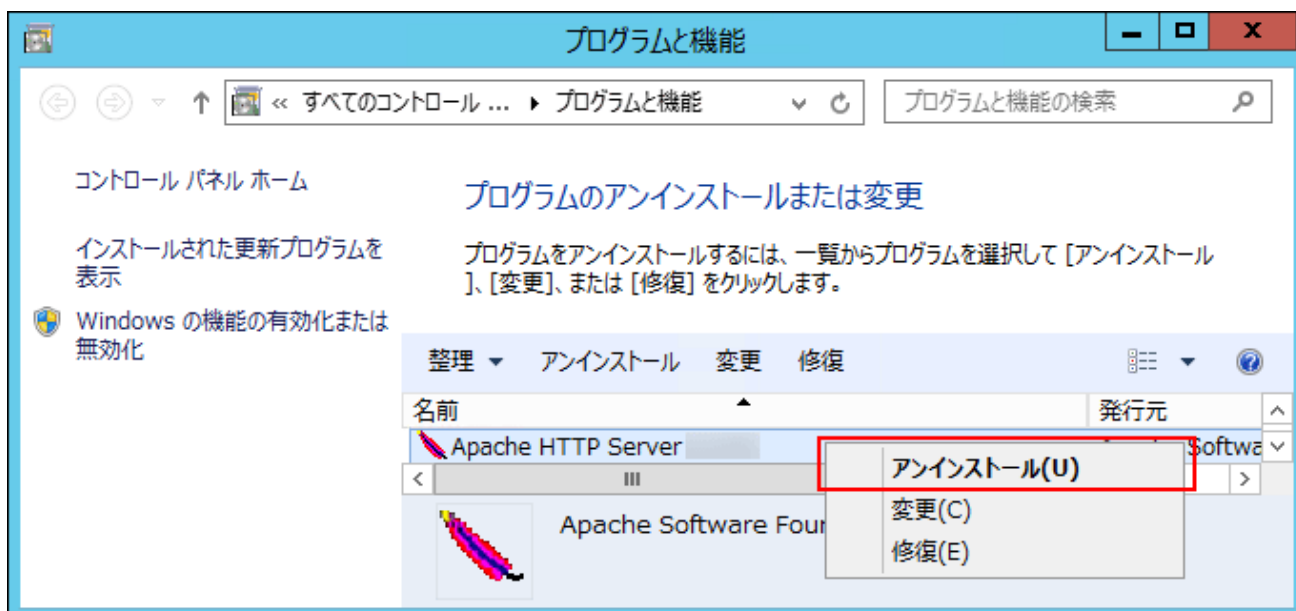
Apacheをアンインストールする

このセクションは、メールワイズ 5のWebサーバーにApacheを利用しているお客様向けの説明です。

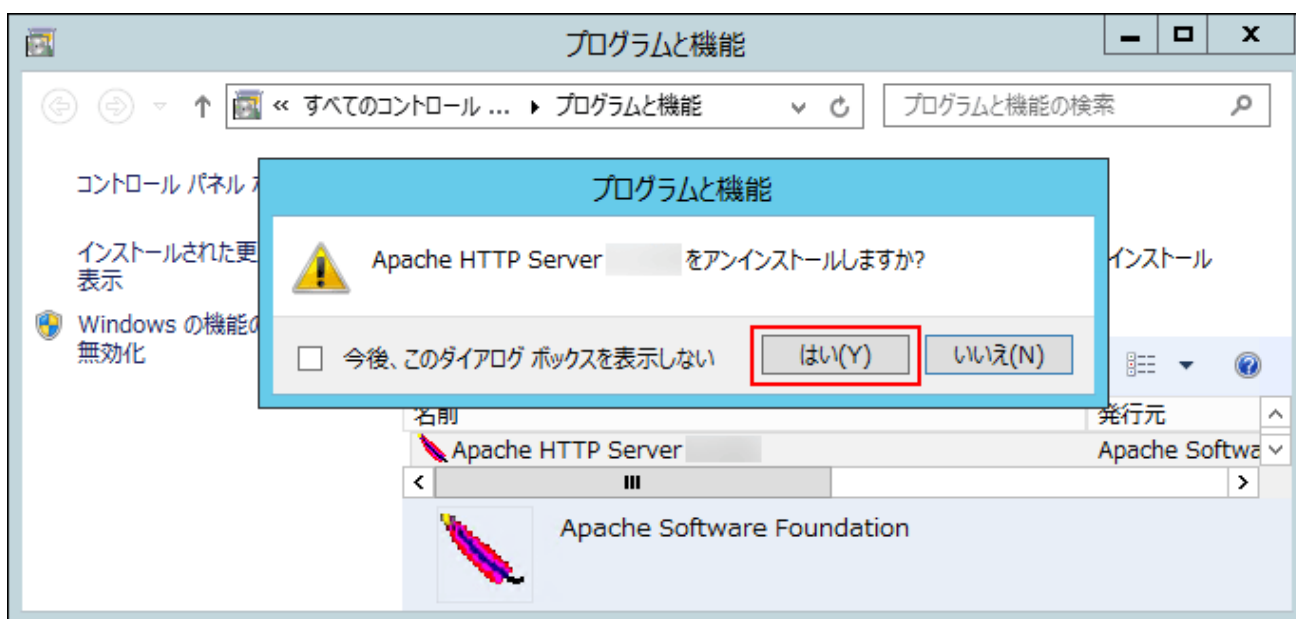
メールワイズ 5をアンインストールしたあと、Apacheを使用する必要のない場合は、Apacheをアンインストールします。

操作手順：

1. サーバーのデスクトップ画面の下側に表示されるタスクバーで、Apacheのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「Exit」を選択します。
2. Windowsのスタートメニューから、コントロールパネルを開きます。
3. すべてのコントロールパネル項目から、「プログラムと機能」を開きます。
4. 「Apache HTTP Server 2.x.x」を右クリックし、「アンインストール」をクリックします。



5. 確認画面で、**はい** をクリックします。



アンインストールが始まります。

© Cybozu